Paloma

エコジョーズ

取扱説明書（保証書付）

潜熱回収型

給湯暖房用熱源機

品名

DH-E2416SAWL
DH-E2416SAAL
DH-E2416SATL
DH-E2416SABL
DH-E2416SAUL
DH-CE2416SAWL
DH-CE2016SAWL

はじめに
ご使用前に
お湯・シャワー
おふろ
暖房
その他の機能
エネルック
ユーザー設定
必要なとき
困ったとき
ご参考

SBB819P

この取扱説明書の見かた

このたびは弊社製品をお求めいただきまして、まことにありがとうございます。
- この取扱説明書をよくお読みになって、正しくご使用ください。
- 保証書(裏表紙)は必ずお買い上げ日・販売店名などの記入を確かめてください。
- この取扱説明書(保証書付)は、いつでもご覧になれるところに保管してください。

絵表示の説明

- 》しくみ　リモコンや給湯暖房用熱源機のしくみ
- ▶参照　参照先 または 参照ページ
- ★ヒント　使いかたのヒント
- 台所 浴室　その設定ができるリモコンを示しています
- 注意　ご注意ください

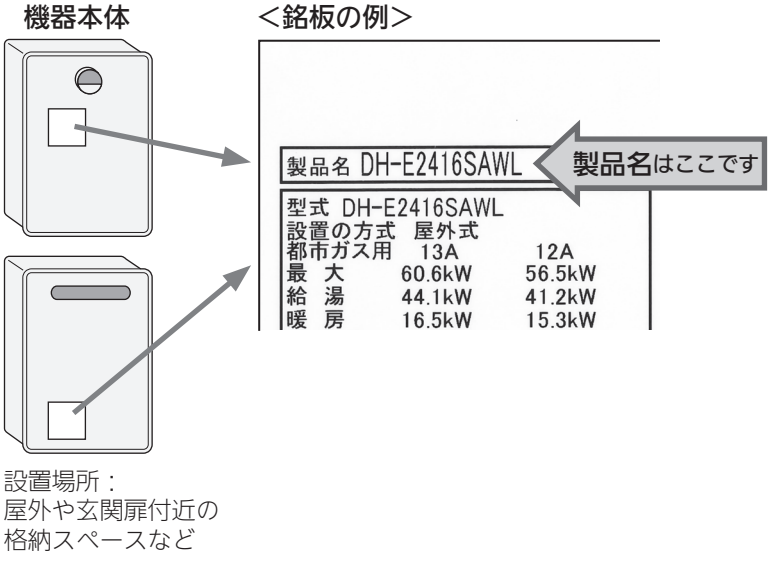
文中の(P○)の数字は参照ページを表します

説明中のリモコン表示画面は一例です

- 実際の表示画面は、設置状態や使用状況によって異なります。

製品名の確認のしかた

- 機器に貼り付けてある銘板で確認できます。



もくじ

はじめに

この取扱説明書の見かた…… 2
製品名の確認のしかた…… 2
もくじ…… 3
こんなことができます…… 4
必ずお守りください(安全上の注意)…… 5

ご使用前に

各部のなまえとはたらき(機器本体)…… 10
各部のなまえとはたらき(リモコン)…… 12
　スイッチ部…… 12
　表示画面…… 14
台所リモコンで時計をあわせる…… 16

お湯・シャワー

お湯の温度を調節してお湯を出す…… 17
お湯の温度を調節できないときは<優先切替>… 18

おふろ

おふろを沸かす<ふろ自動>…… 19
　自動保温の時間を変更する…… 21
残り湯を沸かし直す…… 22
沸き上がりのふろ温度・ふろ湯量を調節する…… 23
ぬるいおふろのお湯を沸かす<追いだき>…… 24
おふろのお湯を増やす<たし湯>
　・ぬるくする<たし水>…… 25
おふろ沸かしを予約する<ふろ予約>…… 26

暖房

暖房する…… 28

その他の機能

手動ふろ配管クリーンをする…… 29
リモコンの音量を変更する<音量>…… 30
浴室または台所を呼び出す<呼出>…… 31

エネルック

エネルックでガスやお湯などの使用状況を見る… 32
エネルックの設定を変更する…… 34

ユーザー設定

使い勝手にあわせて設定を変更する(ユーザー設定)… 36

必要なとき

凍結による破損を予防する…… 39
長期間使用しないとき(水抜きのしかた)…… 40
水抜き後の再使用のとき…… 41
日常の点検・お手入れのしかた…… 42
あんしん点検について…… 45

困ったとき

故障・異常かな?と思ったら…… 46
リモコンに3桁の英数字が点滅しているとき
　<故障表示>…… 50

ご参考

主な仕様…… 51
リモコン音声一覧…… 53
設定範囲と初期設定…… 54
冬期の入浴について…… 54
保管とアフターサービス…… 55
保証書…… 裏表紙

こんなことができます

自動でおふろを沸かします。

熱くしたり、ぬるくしたり、増やしたりも
思いのまま。



ふろ自動(P19)
追いだき(P24)
たし湯・たし水(P25)

ガスやお湯など、使った エネルギーが確認できます。

省エネ・節約のお助けに。



エネルック(P32)

暖房ができます。



暖房(P28)

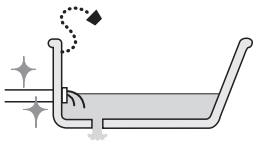
浴室・台所間を呼出スイッチで連絡。



呼出(P31)

ふろ配管クリーンで

おふろの配管内に残ったお湯を流します。
次のおふろも安心。



ふろ配管クリーン(P29)

使い勝手にあわせて

いろいろな設定を変更することが
できます。

ユーザー設定(P36)

必ずお守りください(安全上の注意)

●お使いになる方や他の方への危害・財産への損害を未然に防止するために、つぎのような区分・表示をしています。
いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容をよく理解して正しくお使いください。

⚠危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定されます。	⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定されます。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害の発生が想定されます。	お願い	安全に快適に使用していただくために、理解していただきたい内容です。

⚠危険 異常のあったとき

必ず守る

●ガス漏れに気づいたときは、
①すぐに使用をやめる
②ガス栓を閉める
**　また、メーターのガス栓も閉める**
③販売店またはもよりのガス事業者(供給業者)に連絡する





火気禁止

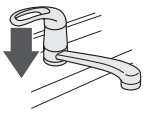
●ガス漏れ時は、絶対に
・火をつけない
・電気器具(換気扇その他)のスイッチ「入」「切」をしない
・電源プラグの抜き差しをしない
・周辺の電話も使用しない
火や火花で引火し、
火災の原因になります。

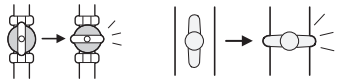


⚠警告 異常のあったとき

必ず守る

●地震、火災などの緊急の場合は、次の手順に従う
①給湯栓を閉める
②運転スイッチを「切」にする
③ガス栓・給水元栓を閉める





●Ⓐ点火しない場合、または使用中に異常な臭気、異常音、異常な温度を感じた場合や、使用途中で消火する場合は、ただちに使用を中止しガス栓を閉める
**　Ⓑ使用中に異常があった場合は、「故障・異常かな?と思ったら」(P46)、「リモコンに3桁の英数字が点滅しているとき<故障表示>」(P50)に従い処置をする**
ⒶⒷの処置をしても直らない場合は、使用を中止し、販売店に連絡する

お願い 雷・停電・断水などのとき

電源プラグを抜く

●雷が発生しはじめたら、すみやかに運転を停止し、電源プラグを電源コンセントから抜く(またはブレーカーを「切」にする)
ぬれた手でさわらない(感電のおそれがあります)

ぬれ手禁止

雷による一時的な過電流で電子部品を損傷することがあります。
雷がやんだあとは電源プラグを電源コンセントに差し込み(またはブレーカーを「入」にし)、リモコンの時計をあわせてください。
※冬期は、電源を長時間切っていると凍結のおそれがあります。
※落雷被害に有効な火災保険へのご加入をおすすめします。

感電注意

●断水時は運転を停止し、給湯栓を閉める
給湯栓を開けたままにしておくと、給水が復帰したときに水が流れっぱなしになります。

●断水復帰後の使いはじめのお湯は飲まない、調理に使用しない
断水したときは飲用や調理用に適さない水が配管にとどまることがあります。

●断水復帰後は、給湯栓から充分水を流してから使用する

●停電後や、長期不在などで電源プラグを抜いたあと(またはブレーカーを「切」にしたあと)は、リモコンの現在時刻を確認する
時計がリセットする場合があります。

●停電すると、運転が停止します

お願い 積雪時・凍結予防・長期間使用しないとき

●積雪時には給気口・排気口・排気筒トップの点検、除雪をする
雪により給気口・排気口・排気筒トップがふさがれると、機器の故障の原因になります。

●凍結による破損を予防する(P39～40)
暖かい地域でも、機器や配管内の水が凍結して破損事故が起こることがありますので、必要な対策をしてください。
凍結により機器が破損したときの修理は、保証期間内でも有料になります。

●長期間使用しない場合、必要な処置をする(P40)
凍結および万が一のガス漏れを防止するため。

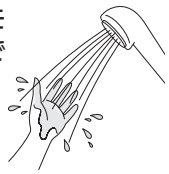
(つづく)

必ずお守りください(安全上の注意)(つづき)

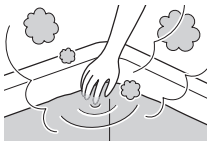
⚠警告 給湯・おふろ・暖房の使用時

高温注意

●シャワーなどお湯の使用時は、リモコンに表示の温度をよく確かめ、手で湯温を確認してから使用する
60℃の高温で使ったあと、あらためて使用するときは特に注意してください。
やけど予防のため。



●浴槽の湯温を手で確認してから入浴する
やけど予防のため。



●ふろ運転中は、循環アダプターから熱いお湯が出るのでさわらない
やけど予防のため。



禁止

●シャワー使用時に使用者以外が、リモコンの温度を変えたり、運転スイッチを「切」にしたり、「優先」を切り替えたりしない
高温に変更されたときのやけど予防のため。
また、低温に変更されたり運転スイッチを「切」にされると、冷水になって使用者が驚く原因になります。

●浴槽のふたの上に乗ったり手をついたりしない
ふたが外れておぼれたり、やけどなど思わぬ事故の原因になります。

●お湯の中にもぐったり、循環アダプターのフィルターを外して使用しない
運転中に体の一部や髪の毛などが吸い込まれて、おぼれたり、ケガをするおそれがあります。

●子供を浴室内で遊ばせない、子供だけで入浴させない
思わぬ事故の原因になります。

●【床暖房が設置されている場合】
床暖房の上で長時間座ったり、寝そべったりしない
低温やけどを起こすおそれがあります。
特に次のような方が使用される場合はまわりの方が注意してあげることが必要です。
- 乳幼児・お年寄り・病人など自分の意思で体を動かせない方
- 疲労の激しいときやお酒・睡眠薬を飲まれた方
- 皮膚や皮膚感覚の弱い方

⚠注意 給湯・おふろ・暖房の使用時

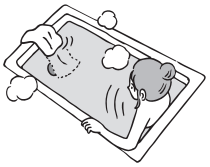
禁止

●【床暖房が設置されている場合】
床暖房の上に電気カーペットを敷かない
床材の割れ、そり、すき間の原因になります。

●【床暖房が設置されている場合】
床暖房に鋭利なものを落としたり、刺したり、くぎ打ちなどをしない
温水パイプが破損します。

お願い 給湯・おふろ・暖房の使用時

●浴槽の循環アダプターをタオルなどでふさがない、穴に物を詰めない
おふろ沸かしができません。
機器の故障の原因になります。



●硫黄(イオウ)を含んだ入浴剤は使用しない
●バスソルトなど塩分の強いもの、乳白色(白濁)のものを使用するときは、保温や追いだきをしない
使用後はすぐに排水する
●入浴剤・ふろがま洗浄剤・洗剤などを使用するときは、注意書きをよく読み、正しく使用する
入浴剤・ふろがま洗浄剤の種類によっては、機器の熱交換器を腐食させたり、ポンプの能力が低下する原因になるものがあります。
これらを使用して追いだきしたときに、異常音が出たり、追いだきできなくなる場合は、使用をやめてください。
ふろがま洗浄剤の使用に際しては、注意書きをよく読み、正しく使用してください。

●機器や配管に長時間たまった水や、朝一番のお湯は飲まない、調理に使用しない
雑用水として使用してください。

●運転スイッチ「切」時にはお湯側から水を出さない
お湯を出すときには、運転スイッチ「入」を確認してください。
運転スイッチ「切」時にお湯側から長時間水を出すと熱交換器内に結露現象が発生し、不完全燃焼の原因になったり、電気部品の損傷の原因になる場合があります。
シングルレバー式混合水栓の場合は、レバーを完全に水側にセットしてから水を出してください。

●使用時の点火、使用後の消火を確認する
ガス事故防止のため。

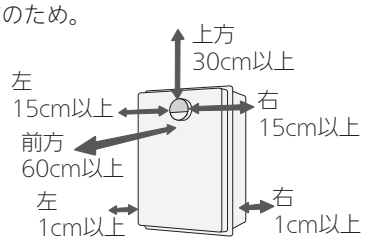
⚠警告 機器とその周辺の注意

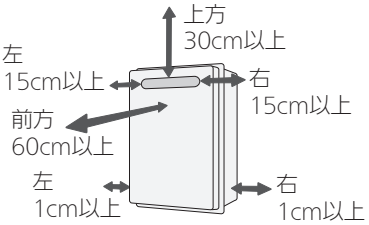
必ず守る

●【排気方向を上方へ変更するカバーを取り付けている場合】
カバーに雪が積もっていたら、除雪する
雪で排気が閉塞すると、不完全燃焼や機器の故障の原因になります。



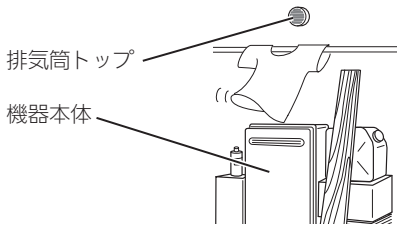
●燃えやすい物とは離す(樹木、木材、箱など)
火災予防のため。





禁止

●燃えやすい物を機器本体や排気口、排気筒トップのまわりに置かない(洗濯物、新聞紙、灯油など)
火災の原因になります。



●灯油、ガソリン、ベンジンなど、引火のおそれのある物を機器本体や排気口、排気筒トップのまわりで使用しない
火災の原因になります。

●スプレー缶やカセットこんろ用ボンベを機器本体や排気口、排気筒トップのまわりに置かない、使用しない
熱でスプレー缶の圧力が上がり、スプレー缶が爆発するおそれがあります。

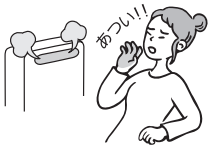
●機器本体やガスの配管、排気口、排気筒トップなどに乗ったりして、無理な力を加えない
ケガや、機器の変形によるガス漏れ、不完全燃焼のおそれがあります。

●外壁の塗装や増改築、建物の修繕時などに機器本体(排気口)や排気筒トップが養生シートで覆われた場合は、機器を使用しない
不完全燃焼や一酸化炭素中毒、爆発点火の原因になります。

⚠注意 機器とその周辺の注意

接触禁止

●使用中や使用後しばらくは、排気口・排気筒トップ・排気筒付近に触れない
やけど予防のため。



禁止

●給気口・排気口・排気筒トップに指や棒を入れない
ケガや故障の原因になります。

●子供を機器の周囲、直下で遊ばせない
思わぬ事故の原因になります。

お願い 機器とその周辺の注意

●機器のまわりはきれいにしておく
まわりが雑草、木くず、箱などで雑然としていると、機器の内部にゴキブリが侵入したりクモの巣がはったりして、機器の損傷や火災の原因になることがあります。

●植物やペットなど、排気ガスによって加熱されると困るものや悪影響を受けるものを、排気口・排気筒トップの周囲に置かない

●排気ガスが直接建物の外壁・窓・アルミサッシなどや、物置などの塗装品などに当たらないように設置する
増改築時も同様に注意する
ガラスが割れたり、変色したり、塗装がはがれたりする原因になります。

●塀などを増設する場合は、機器の点検・修理に必要な空間を確保し、空気の流れが停滞しないように考慮する
塀などと機器との間に充分な空間がないと、機器の点検・修理に支障をきたす場合があります。また、機器の周囲の空気の流れが停滞すると、燃焼不良になるおそれがあります。
(機器の修理・点検に必要な空間については、販売店または弊社窓口に確認してください)

⚠警告 機器のメンテナンス

必ず守る

●電源プラグのホコリは定期的に取る
ホコリがたまると、火災の原因になります。
電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

⚠注意 機器のメンテナンス

必ず守る

●機器の給気口・排気筒トップがホコリ・ゴミなどでふさがっていないか確認する
不完全燃焼の原因になります。

●機器の点検・お手入れ・水抜きをする場合、暖房放熱器を停止し、リモコンの運転スイッチを「切」にし、機器が冷えてからおこなう
やけど予防のため。
機器の使用直後は、機器内のお湯が高温になっています。

●【不凍液を使用している場合】
不凍液は3年に1度、弊社指定の不凍液に交換する(P44)
交換せずに使用された場合は、防サビと凍結予防の効果がなくなり、機器や放熱器が破損するおそれがあります。交換の際は、販売店または弊社窓口へご相談ください。
(不凍液の種類によっては、交換時期の長いものもあります。詳細は不凍液をご確認ください。)

お願い リモコン・その他のメンテナンス

●リモコンを分解しない
故障や、思わぬ事故の原因になります。

●リモコンの掃除には、塩素系・酸性・アルカリ性の洗剤や、ベンジン・シンナーなどの有機溶剤、メラミンスポンジを使用しない
変色・変形・傷・割れなどの原因になります。

●【配管カバーまたは据置台がある場合】
配管カバーまたは据置台のフロントカバーを外した場合は、作業終了後、必ずフロントカバーを元どおり正しく取り付ける(P10)
特に強風が予測される場合は、ネジのゆるみがないか点検する

●浴槽の循環アダプターのフィルターはこまめに掃除する
ポンプ故障の予防のため。

●浴槽、洗面台はこまめに掃除する
水中に含まれる微量の銅イオンと人体のあかやせっけんなどに含まれる脂肪酸とが反応して浴槽や洗面台が青く着色することがあります。こまめに掃除をして湯あかやせっけん成分を洗い流すことで、これを予防できます。

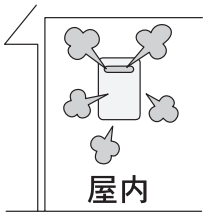
(つづく)

必ずお守りください(安全上の注意)(つづき)

⚠危険 機器の設置や接続

禁止

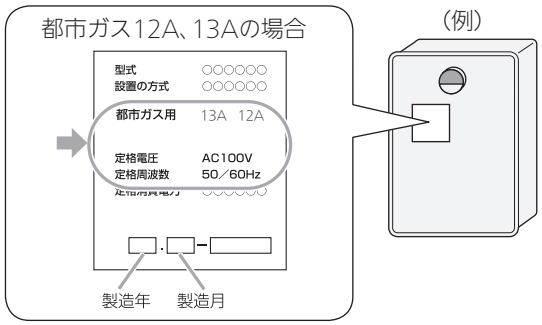
屋内に設置しない
一酸化炭素中毒の原因になります。



⚠警告 機器の設置や接続

必ず守る

●必ず銘板に表示のガス・電源で使用する



表示のガス種および電源が一致しないと、不完全燃焼による一酸化炭素中毒になったり、異常点火でやけどしたり、機器が故障する場合があります。
特に転居した場合は、必ずガスの種類(電源の種類)が一致しているかどうか確認してください。わからない場合は、販売店または弊社窓口に連絡してください。

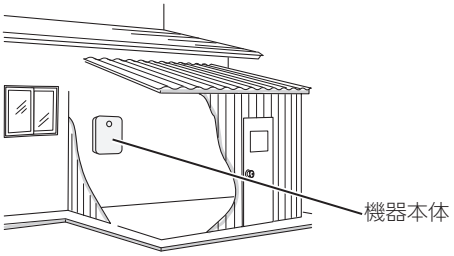
●ガス配管接続工事には専門の資格、技術が必要なため、機器の設置・移動・取り外しおよび付帯工事は、販売店または弊社窓口に依頼する
安全に使用していただくため。

●必ずアースする
機器が故障した場合、感電の原因になります。
アースがされていない場合は、販売店にご相談ください。

禁止

●太陽熱温水器とは絶対に接続しない
お湯の温度制御ができなくなり、やけどや機器の故障の原因になります。

●増改築などで屋内状態にしない(波板囲いなどをしない)
一酸化炭素中毒・火災の原因になります。



お願い 機器の設置や接続

●温泉水、井戸水、地下水で使わない
水質によっては、機器内の配管に異物が付着したり、腐食して水漏れすることがあります。
この場合の修理は保証期間内でも有料になります。

⚠警告 電源プラグ・電源コードの扱い

禁止

●傷んだ電源プラグ、緩んだ電源コンセントは使用しない
感電、発熱による火災の原因になります。

●電源コード、電源プラグの破損・加工をしない
束ねたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、物を載せたり、衝撃を与えたりして無理な力を加えない。傷つけない。加工をしない。
感電、ショート、火災の原因になります。

ぬれ手禁止

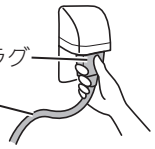
感電注意

●電源プラグはぬれた手でさわらない
感電の原因になります。

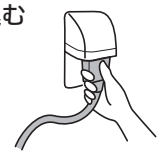


必ず守る

●電源プラグは、コードを持たずに電源プラグを持って抜く
コードを持って抜くと、
コードが破損し、発熱、
火災、感電の原因になります。



●電源プラグは根元まで確実に差し込む
差し込みが不充分だと、
感電や火災の原因になります。



⚠注意 リモコンの取り扱い

禁止

●リモコンのスピーカーに耳を近づけない
大きな音が出る場合があり、聴覚障害などを引き起こす原因になります。

●リモコンには磁石を使用しています
磁石の力は非常に微弱ですが、ペースメーカーなど医療機器を使用している方は、医師とご相談のうえ使用してください。

お願い リモコンの取り扱い

●リモコンを子供がいたずらしないよう注意する

●リモコンのふたに衝撃を与えない
リモコンのふたが破損する原因になります。
ふろふたを取り扱うときなどは、リモコンのふたに当たらないよう注意してください。

●台所リモコンに、水しぶきをかけない、蒸気を当てない
炊飯器、電気ポットなどに注意。故障の原因になります。

●浴室リモコンに故意に水をかけない
防水型ですが、多量の水は故障の原因になります。

●浴室リモコンに、シャンプー・リンス・入浴剤などを故意にかけない
変色などの原因になります。

お願い　リモコンの設置環境

●台所リモコンは0℃～40℃の室温で、浴室リモコンは0℃～50℃の室温で使用する
故障の原因になります。

●浴室リモコンを設置している浴室で、ドライサウナを使用しない
ミストサウナを使用される場合も、50℃以下の室温でご使用ください。

⚠警告　その他の注意


分解禁止

●お客さまご自身では絶対に分解したり、修理・改造はおこなわない
一酸化炭素中毒など思わぬ事故や故障の原因になります。

⚠注意　その他の注意


禁止

●給湯、シャワー、おふろ、暖房以外の用途には使用しない
思わぬ事故を予防するため。

●機器取り替えと乾電池に関するお願い
機器を取り替えた場合、旧機器は専門の業者に処理を依頼してください。
もしお客さまで旧機器の処理をされる場合、乾電池を使用している機器は、乾電池を取り外してから正規の処理をしてください。

お願い　その他の注意

●業務用の用途では使用しない
この製品は家庭用ですので、業務用の用途で使用すると製品の寿命を著しく縮めます。この場合の修理は、保証期間内でも有料になります。

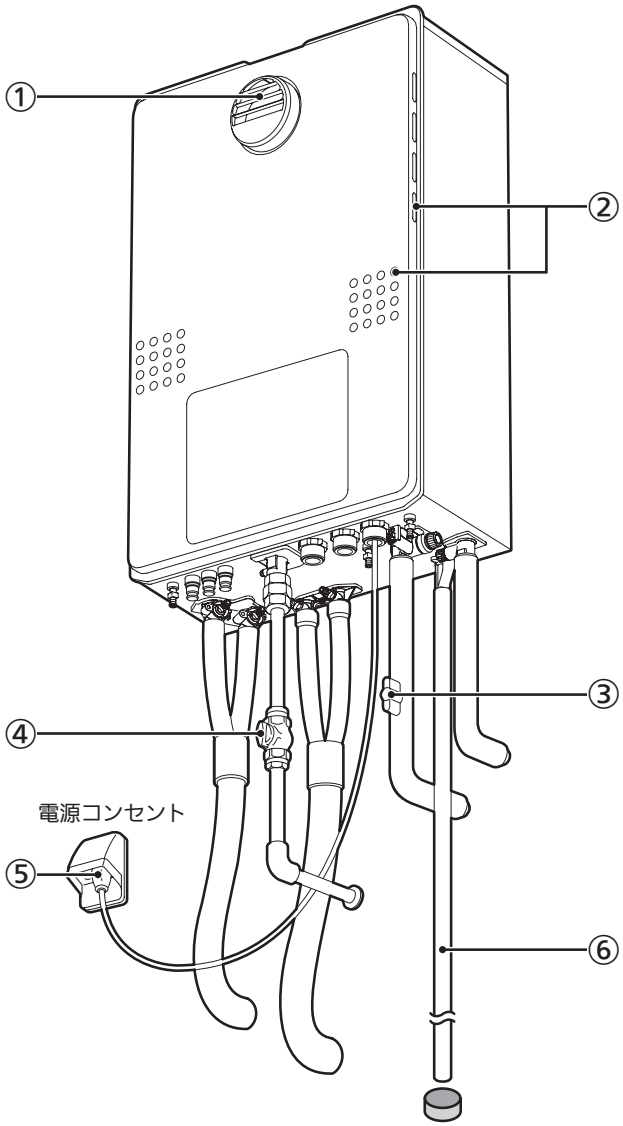
●この機器の純正部品以外は使用しない
思わぬ事故の原因になります。

各部のなまえとはたらき（機器本体）

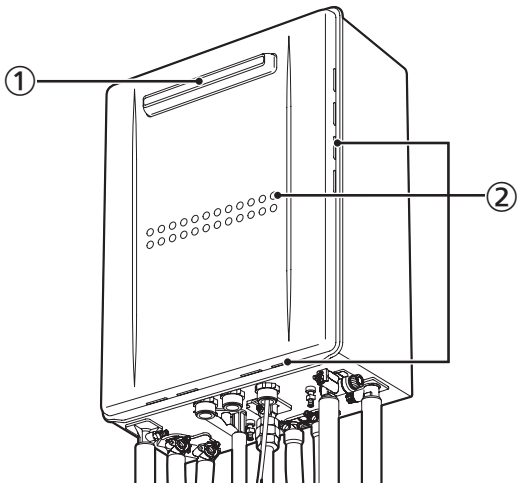
●イラストは施工例です。配管の形状、給水元栓・ガス栓・電源コンセントの位置など実際と異なります。

屋外設置壁掛形

（例：DH-E2416SAWL）



（例：DH-CE2416SAWL）



① 排気口
燃焼した排気ガスを出します。

② 給気口
燃焼用の空気を吸い込みます。

③ 給水元栓

④ ガス栓

⑤ 電源プラグ

⑥ ドレン配管
機器の使用で発生する凝縮水を排出します。

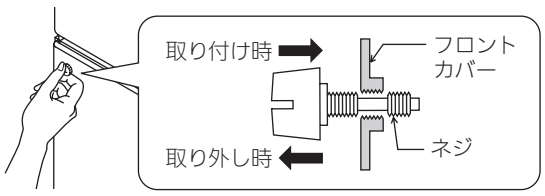
● 配管カバー・据置台のフロントカバー取り付け時の注意

※配管カバー・据置台は別売品です。

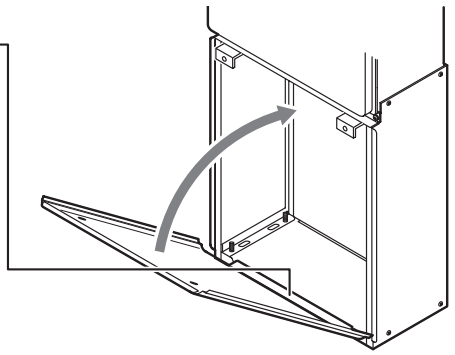
フロントカバーを外したあとは、正しく取り付けてください。

1 フロントカバーの下部を、ケースの前下部にきちんとはめる

2 フロントカバーを閉め、ガタつきやゆるみのないようネジをしっかりと締める



（例：ネジが2か所の場合）



＊ memo ＊

各部のなまえとはたらき（リモコン）

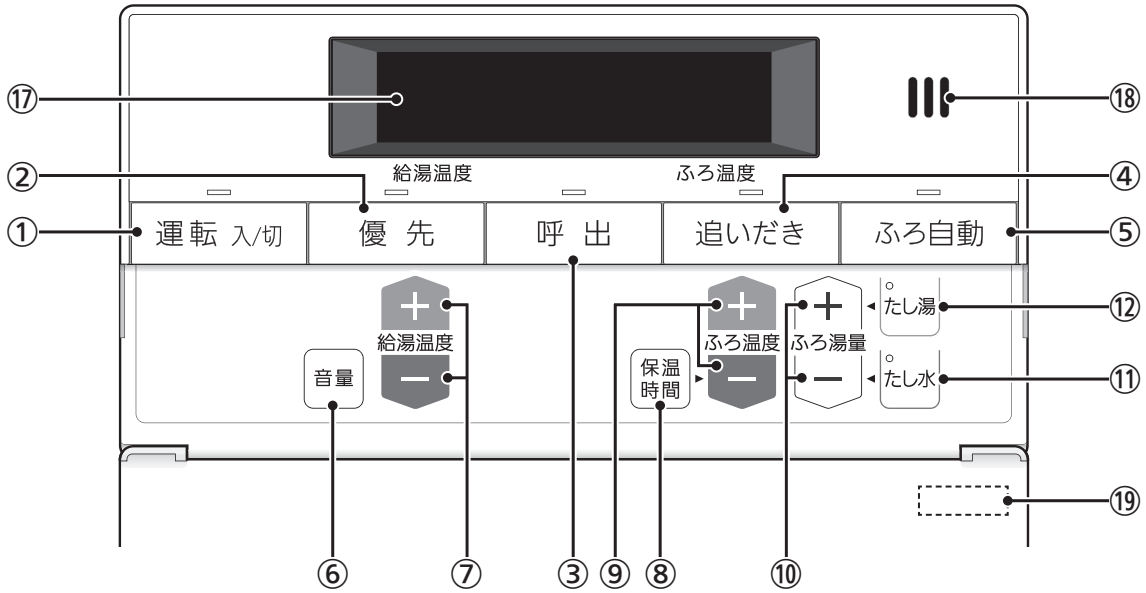
スイッチ部

スイッチを押すと操作音が鳴り、操作の内容を音声でお知らせします。

（ふたを開けた状態です）

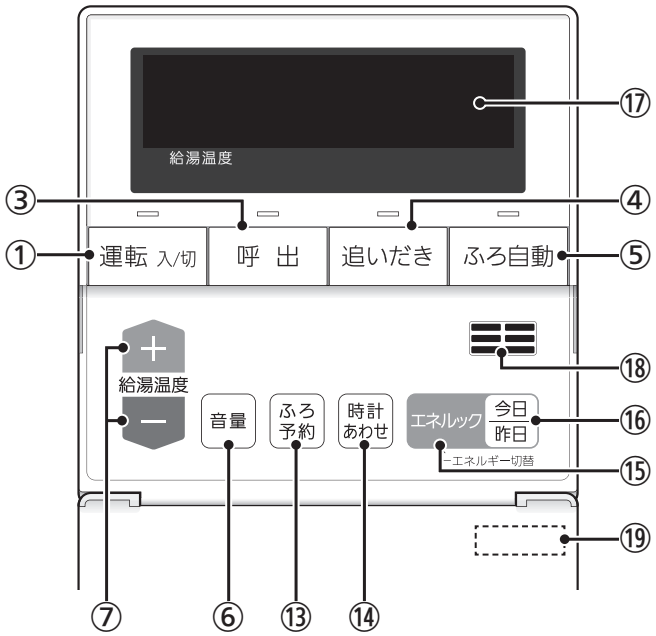
● 浴室リモコン

● リモコン品名：FC-131V



● 台所リモコン

● リモコン品名：MC-131V



① 運転スイッチ・ランプ
運転の「入」「切」に。

② 優先スイッチ・ランプ
給湯温度を変更できないときに押してランプを点灯させると、変更できます。(P18)

③ 呼出スイッチ・ランプ
台所または浴室を呼び出したいとき。(P31)

④ 追いだきスイッチ・ランプ
ぬるいおふろのお湯を沸かすとき。(P24)

⑤ ふろ自動スイッチ・ランプ
おふろにお湯をためて沸かすとき。(P19)

⑥ 音量スイッチ
リモコンの音量を変更するとき。(P30)

⑦ 給湯温度スイッチ
・給湯やシャワーのお湯の温度の設定に。(P17)
・その他の設定を変更するとき。

⑧ 保温時間スイッチ
自動保温を変更するとき。(P21)

⑨ ふろ温度スイッチ
・ふろ温度の設定に。(P23)
・自動保温の時間を変更するとき。(P21)

⑩ ふろ湯量スイッチ
ふろ湯量(P23)・たし湯量(P25)・たし水量(P25)の設定に。

⑪ たし水スイッチ・ランプ
おふろに水をたしてぬるくするとき。(P25)

⑫ たし湯スイッチ・ランプ
おふろにお湯をたして増やすとき。(P25)

⑬ ふろ予約スイッチ
お好みの時刻におふろを沸かすよう設定するとき。(P26)

⑭ 時計あわせスイッチ
時計をあわせるとき。(P16)

⑮ エネルックスイッチ
・ガスやお湯などの使用状況を詳しく見るとき。(P32)
・エネルックの設定を変更するとき。(P34)

⑯ 今日/昨日スイッチ
エネルックの今日の値と昨日の値を切り替えたいとき。(P32)

⑰ 表示画面
リモコンの節電のため、「表示の節電」機能を備えています。
お湯や暖房を使わないまま、またはスイッチを押さないまま約10分(おふろの機能を使った場合は約1時間)たつと、表示が消えます。(運転ランプは点灯)
※給湯温度を60℃に設定している場合は、安全のため「表示の節電」はしません。

⑱ スピーカー

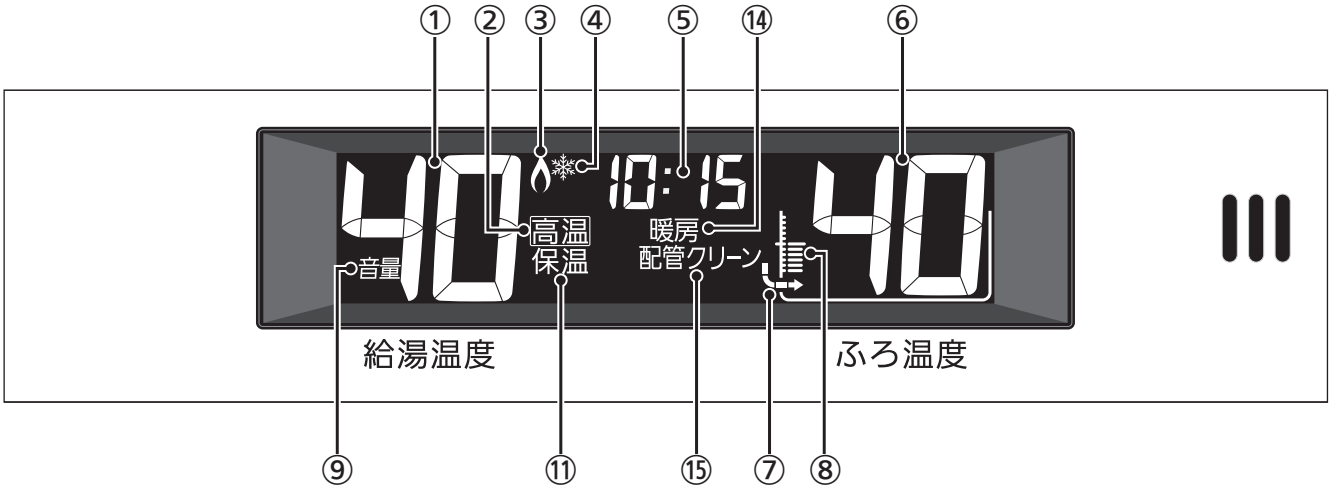
⑲ リモコン品名
ふたの表面に記載しています。

各部のなまえとはたらき(リモコン)(つづき)

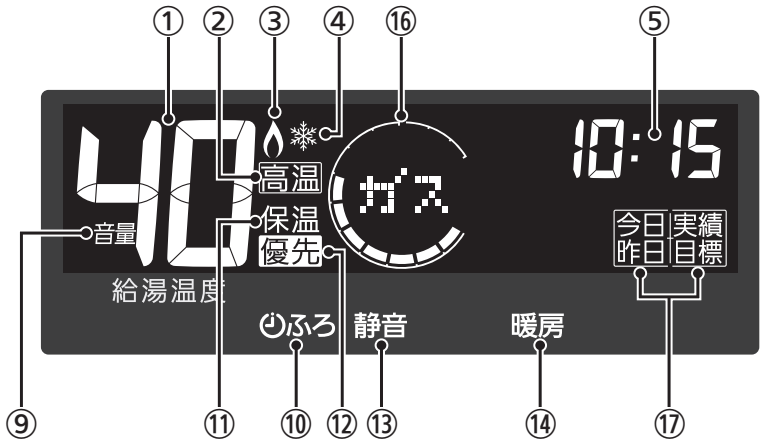
表示画面

下記の表示画面は説明用です。実際は、運転の状態によって表示が異なります。

● 浴室リモコン



● 台所リモコン



① **給湯温度表示**

② **高温表示**
給湯温度を60℃に設定したときに点灯。

③ **炎マーク**
給湯・お湯はり・追いだき・保温または暖房など、燃焼中に点灯。

④ **凍結予防運転中マーク**
凍結予防のためにポンプが作動しているときに点灯。（P39）

⑤ **時計表示**
台所リモコンがある場合のみ表示。

故障表示
不具合が生じたときに表示。（P50）

【浴室リモコンのみ】
たし湯量/たし水量表示
たし湯量・たし水量の設定中に点滅。（P25）

【台所リモコンのみ】
ふろ温度確認表示
・台所リモコンでふろ自動スイッチを押すと、ふろ温度が約10秒間点灯。（P19）
・台所リモコンで追いだきスイッチを押すと、ふろ温度が点灯。（P24）

【台所リモコンのみ】
エネルギー実績値表示
エネルックスイッチを押すと表示。（P32）

⑥ **ふろ温度表示**

ふろ湯量表示
ふろ湯量の設定中に点滅。（P23）

⑦
おふろを沸かしているときや、浴槽への注湯（注水）中に動きます。
※自動保温時は表示しません。

⑧ **ふろ湯量目盛**
・ふろ湯量を目盛で表示。
・ふろ自動ランプ点滅中に動きます。（P19）

⑨ **音量表示**
音量の表示中に点灯。（P30）

⑩ **ふろ予約マーク**
ふろ予約中に点灯。（P26）

⑪ **保温表示**
追いだき保温中に点灯。（P24）

⑫ **優先表示**
点灯していれば、給湯温度が調節できます。（P17,18）

⑬ **静音表示**
静音設定中に点灯。（P37の番号22）

⑭ **暖房表示**
暖房中に点灯。（P28）

⑮ **配管クリーン表示**
ふろ配管クリーン中に点灯。（P29）

⑯ **エネリング**
今日のガス・お湯などの使用状況を表示。（P32）

⑰ **エネルック詳細表示**
エネルックスイッチを押すと表示。
表示している値が、今日のものか昨日のものか、実績か目標かを示します。（P32）

台所リモコンで時計をあわせる

- おふろの予約をしたり、エネルック機能を使ったりするには、時計をあわせておく必要があります。
- 運転スイッチ「入」「切」どちらでも設定できます。

手順　操作できるリモコン 台所



1 ふたの中の時計あわせスイッチを押す

表示例



点滅

2 給湯温度スイッチで時計をあわせる



例：10時15分

» しくみ
- 一度押すごとに1分ずつ、長押しすると10分ずつ変わります。

3 時計あわせスイッチを押す

表示例（運転スイッチ「入」時）



「：」のみ点滅

» しくみ
- 約60秒そのままにしても設定完了します。

お知らせ

- 停電のあとや電源プラグを抜いたあとも「ー：ーー」になります。時計をあわせてください。
- 通常、運転スイッチを「切」にすると時計表示も消えますが、運転スイッチを「切」にしても時計表示をするよう、設定を変更できます。（P36の番号2）

お湯の温度を調節してお湯を出す

手順

操作できるリモコン **台所** 浴室 ／ 記載例 **台所**

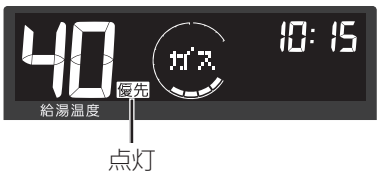
1 運転スイッチを「入」にする

《 運転ランプ点灯 》



2 優先表示(浴室リモコンでは優先ランプ)が点灯していることを確認する

表示例



3 ふたの中の給湯温度スイッチでお湯の温度を調節する

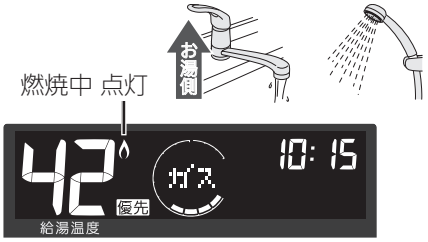


例：42℃

》しくみ

- 優先表示または優先ランプが点灯していない場合は、給湯温度スイッチを押すと「ピピピ」と鳴って温度調節ができないことをお知らせします。(P18)
- 長押しすると連続で変わります。44℃以上に設定するときは1回ずつ押してください。

4 給湯栓を開ける または シャワーを出す



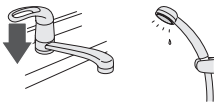
★ヒント

- サーモスタット式混合水栓の場合は、ハンドルの設定よりぬるいお湯が出ることがあります。その場合は、リモコンの給湯温度をハンドルの温度より約10℃高めに設定してください。

■ お湯を止めたいとき

給湯栓を閉める または シャワーを止める

《 炎マーク消灯 》



お湯の温度の目安

(℃)

32	35	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	50	55	60
ぬるめ 食器洗いなど				シャワー、給湯など					給湯など							高温

60℃に設定すると、高温表示が約10秒間点滅→点灯

- 目安の温度ですので、季節や配管の長さなどの条件により、実際の温度とは異なります。
- 低い給湯温度(ぬるめ、食器洗いなど)に設定した場合、水温が高いとその温度にならないことがあります。
- 表示の温度をよく確かめてから使用してください。高温で使ったあと、あらためて使用するときは特に注意してください。

⚠警告		
	高温注意	**シャワーなどお湯の使用時は、リモコンに表示の温度をよく確かめ、手で湯温を確認してから使用する** 60℃の高温で使ったあと、あらためて使用するときは特に注意してください。 やけど予防のため。
	禁止	**シャワー使用時に使用者以外が、リモコンの温度を変えたり、運転スイッチを「切」にしたり、「優先」を切り替えたりしない** 高温に変更されたときのやけど予防のため。また、低温に変更されたり運転スイッチを「切」にされると、冷水になって使用者が驚く原因になります。

お湯の温度を調節できないときは <優先切替>

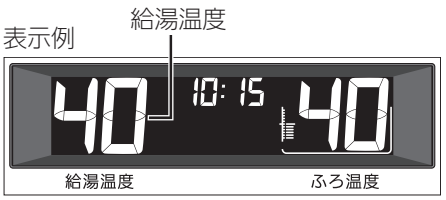
■ 浴室リモコンで温度調節ができないとき

優先スイッチを押す

優先ランプが点灯すると、浴室リモコンで記憶していた給湯温度を表示し、
お湯の温度が調節できます



表示例

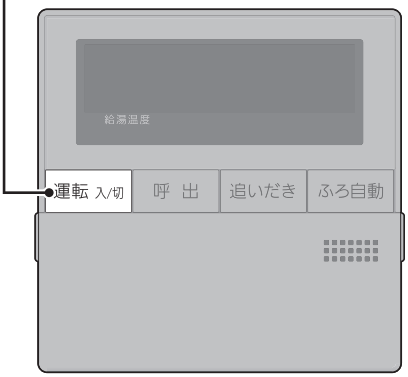


» しくみ

- 再度優先スイッチを押すと、
  台所リモコンに優先が切り替わります。

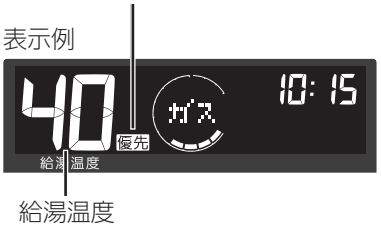
■ 台所リモコンで温度調節ができないとき

運転スイッチをいったん「切」にし、再度「入」にする



優先表示が点灯すると、台所リモコンで記憶していた
給湯温度を表示し、お湯の温度が調節できます

表示例



» しくみ

- 運転が停止します。運転を停止させたくない場合は、
  浴室リモコンの優先スイッチで切り替えてください。

▌「優先」とは

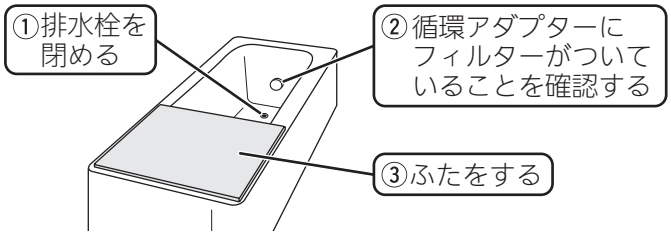
台所、洗面所、シャワーなど、機器からお湯を供給しているところには、同じ温度のお湯が出ます。
そのため、お湯を使っているときに他の人が給湯温度を変えてしまうと、出ているお湯の温度が変わり、使っている人がやけどをしたり、急に冷たくなって驚く原因になります。
このような事故などを防ぐために、リモコンが複数ある場合は1つのリモコンでしか給湯温度が変えられないようになっています。
給湯温度を調節できることを「優先」と呼び、給湯温度を調節できるリモコンには、優先表示または優先ランプが点灯します。
■運転スイッチを「入」にしたリモコンが優先になります。
■浴室リモコンの優先スイッチで、リモコンの優先を切り替えることができます。

⚠警告	禁止 **シャワー使用時に使用者以外が、リモコンの温度を変えたり、運転スイッチを「切」にしたり、「優先」を切り替えたりしない** 高温に変更されたときのやけど予防のため。また、低温に変更されたり運転スイッチを「切」にされると、冷水になって使用者が驚く原因になります。

おふろを沸かす <ふろ自動>

●浴槽が空の状態からおふろを入れる場合は、この方法をおこなってください。

準備

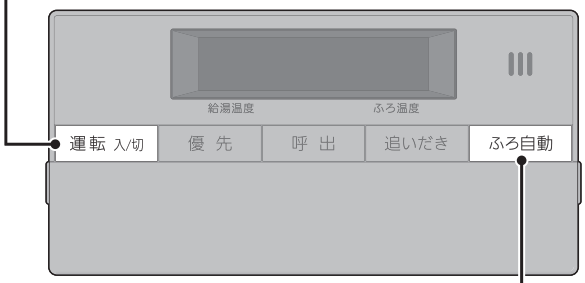


手順

操作できるリモコン **台所** 浴室 ／ 記載例 浴室

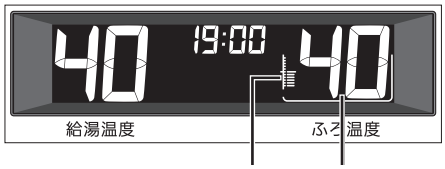
1 運転スイッチを「入」にする

《 運転ランプ、優先ランプ点灯 》



2 ふろ湯量・ふろ温度を確認する

表示例



ふろ湯量　ふろ温度

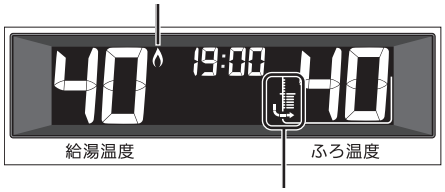
▶参照
●ふろ温度・ふろ湯量の調節(P23)

3 ふろ自動スイッチを「入」にする

《 ふろ自動ランプ点灯→約10秒後点滅 》

【ふろ自動 開始】

燃焼中 点灯



動きます

台所リモコンで操作した場合の時計表示部

表示例



設定したふろ温度が
約10秒間点灯 → 時計表示点灯

》しくみ
●沸き上がり前、入浴できる状態に近づくと、音声でお知らせします。
このとき台所リモコンでは、時計表示部に右のような表示をします。

表示例



現在のふろ温度(目安)
設定したふろ温度

【沸き上がり】

《 ふろ自動ランプ点灯 》

》しくみ
●メロディと音声でお知らせします。

【自動保温】

《 燃焼中 炎マーク点灯 》

▶参照
●自動保温の時間を変更できます。
(P21、またはP36の番号4)

⚠警告	高温注意 **浴槽の湯温を手で確認してから入浴する** やけど予防のため。

(つづく)

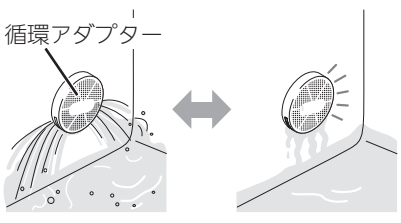
おふろを沸かす（つづき）<ふろ自動>

■ ふろ自動をやめたいとき
■ 沸き上がり後、自動保温の必要がないとき

ふろ自動スイッチを「切」にする
《 ふろ自動ランプ消灯 》

お知らせ

- ふろ自動をはじめると、しばらくは浴槽の循環アダプターからお湯が出たり止まったりします。
  残り湯の量を確認しているためで、故障ではありません。
- 水温が高いときや、ふろ温度を低く設定しているときは、お湯はりのはじめに水が出る場合があります。
- ふろ自動ランプ点滅中に台所やシャワーでお湯を使うと、ふろ自動を中断します。お湯を使い終わると再開します。
- 入浴剤を使用するときの注意については、P6「必ずお守りください（安全上の注意）」をご覧ください。



- 沸き上がらないうちに、何度もふろ自動スイッチの「切」「入」をくりかえすと、お湯があふれることがあります。
- 浴槽のお湯（水）を排水するときは、ふろ自動スイッチが「切」になっていることを確認してから排水してください。

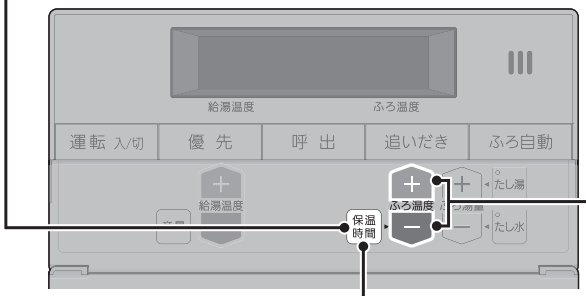
自動保温の時間を変更する

- 運転スイッチ「入」「切」どちらでも変更できます。
- ふろ自動ランプ点滅中・点灯中は、変更できません。
- 台所リモコンで変更することもできます。（P36の番号4）

手順

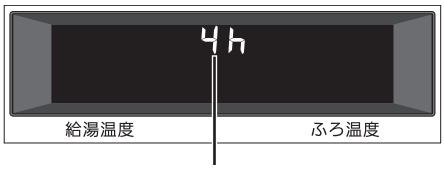
操作できるリモコン 浴室

1 ふたの中の保温時間スイッチを押す



2 ふろ温度スイッチで変更する

表示例



保温時間 点滅

設定範囲（h＝時間）
oF、1h～9h（1hきざみ）
※oFに設定すると、自動保温をしません。

3 保温時間スイッチを押す

» しくみ

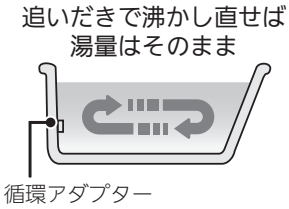
- 約10秒そのままにしても設定完了します。

残り湯を沸かし直す

●浴槽に残り湯がある場合は、ふろ自動(P19)または追いだき(P24)で沸かし直しできます。
ただし、下記の条件によって沸き上がりの湯量が異なる場合がありますのでご注意ください。

● 残り湯の量が充分あるとき（循環アダプターがかくれているとき）

➡ 追いだき で沸かし直してください(P24)

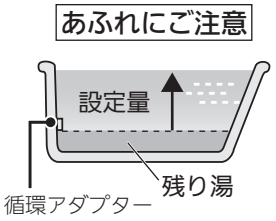


ふろ自動スイッチでも沸かし直しできますが、条件によって沸き上がりの湯量が異なります。
- 沸き上がりの湯量がばらつき、あふれる場合があります。
- ふろ設定温度と残り湯の温度が近い場合、残り湯の量はそのままで沸かし直します。

● 残り湯が少なく、循環アダプターより下にあるとき

➡ ふろ自動 で沸かし直してください(P19)

※設定量分のお湯はりをするため、
残り湯の量だけ沸き上がりの量が増えますのでご注意ください。



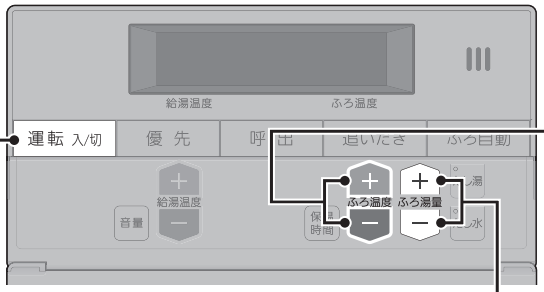
お知らせ

●残り湯を沸かし直す場合は、ふろ自動ではじめからお湯はりするよりも、沸き上がり時刻が遅くなります。(残り湯の湯温によって異なります)
沸き上がりに時間はかかりますが、ガスの消費量がそれほど多くなるわけではありません。

沸き上がりのふろ温度・ふろ湯量を調節する

手順　操作できるリモコン 浴室

1 運転スイッチを「入」にする
《 運転ランプ、優先ランプ点灯 》



2 【ふろ温度を調節するには】ふたの中のふろ温度スイッチで、お好みの温度に調節する

表示例



ふろ温度

しくみ
- 変更した温度は記憶します。

ふろ温度の目安

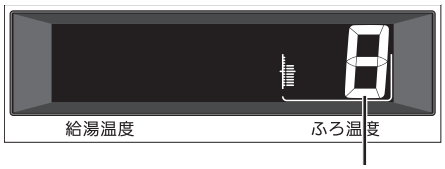
(℃)

33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48
ぬるめ							ふつう				あつめ				

設定するふろ温度は目安です。実際の沸き上がり温度と設定温度は、季節や配管の長さなどの条件により異なります。

2 【ふろ湯量を調節するには】ふたの中のふろ湯量スイッチで、お好みの湯量に調節する

表示例



ふろ湯量 点滅

しくみ
- 変更した湯量は記憶します。
- 操作後約10秒たつと、元の画面に戻ります。

★ヒント
- 設定したふろ湯量どおりに沸き上がらない場合は、以下をご確認ください。
  - ・浴槽の循環アダプターのフィルターにゴミや毛髪などが詰まっていたら、お手入れしてください。(P43「日常の点検・お手入れのしかた」)
  - ・残り湯をふろ自動で沸かし直すと、設定した湯量どおりになりません。(P22)

ふろ湯量の目安

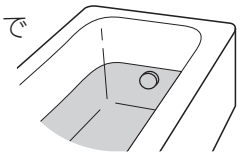
ふろ湯量表示	湯量(目安)	浴槽の大きさ(目安)
11	330L	
10	300L	1600タイプ
9	270L	
8	245L	1400タイプ
7	220L	
6	200L	1200タイプ
5	180L	1100タイプ
4	165L	900タイプ
3	150L	800タイプ
2	140L	洋バス
1	130L	洋バス

ぬるいおふろのお湯を沸かす <追いだき>

●設定したふろ温度まで追いだきができます。

準備　お湯(水)の量を確認する

循環アダプターの上まで
お湯(水)があること



手順　操作できるリモコン 台所 浴室 ／ 記載例 浴室

1 運転スイッチを「入」にする
《 運転ランプ、優先ランプ点灯 》

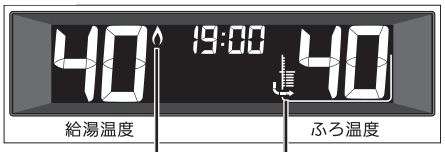


2 追いだきスイッチを「入」にする
《 追いだきランプ点灯 》

追いだき後に自動保温をしたいときは追いだきスイッチを約2秒間長押しする(ピッと鳴るまで)
《 追いだきランプ点灯 》

【追いだき 開始】

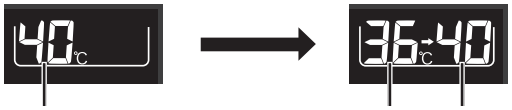
表示例



燃焼中 点灯　矢印が動きます

▌台所リモコンで追いだきした場合の時計表示部

表示例



設定したふろ温度　現在のふろ温度(目安)　設定したふろ温度

》しくみ

●台所リモコンで追いだきした場合や長押しで追いだきした場合は、沸き上がり前、入浴できる状態に近づくと音声でお知らせします。

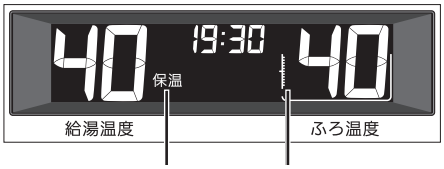
【追いだき 完了】

《 追いだきランプ消灯 》

》しくみ

●台所リモコンで追いだきした場合や、長押しで追いだきした場合は、メロディと音声でお知らせします。

▌自動保温の場合



点灯　ふろ湯量目盛 消灯

《 ふろ自動ランプ点灯 》
《 燃焼中 炎マーク点灯 》

》しくみ

●自動保温の時間はふろ自動と同じです。

■ 追いだきを途中でやめたいとき → 追いだきスイッチを「切」にする 《 追いだきランプ消灯 》

■ 追いだき完了後に自動保温をやめたいとき → ふろ自動スイッチを「切」にする 《 ふろ自動ランプ消灯 》

お知らせ

●**【浴室リモコンで追いだきした場合】**設定したふろ温度まで追いだきしますが、そのあとは1回押すと1℃上がり、くりかえし押すと設定温度＋3℃を上限に(設定温度45℃以上の場合は、約48℃まで)追いだきします。やけどに注意してください。

●ふろ自動ランプ点滅中は、追いだきをすることができません。

おふろのお湯を増やす<たし湯>・ぬるくする<たし水>

手順　操作できるリモコン 浴室

1 運転スイッチを「入」にする
《 運転ランプ、優先ランプ点灯 》



2 【たし湯をするには】
ふたの中のたし湯スイッチを「入」にする
《 たし湯ランプ点灯 》

2 【たし水をするには】
ふたの中のたし水スイッチを「入」にする
《 たし水ランプ点灯 》

【たし湯・たし水 開始】

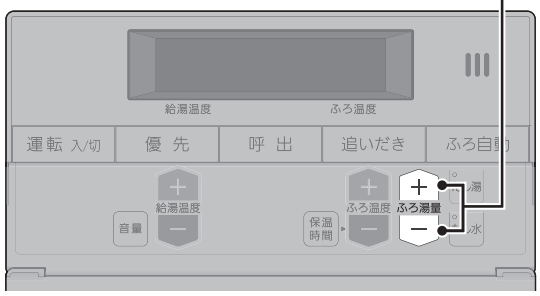
表示例

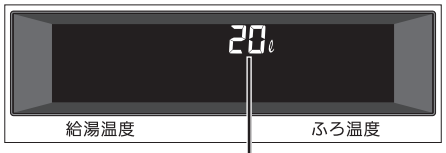


たし湯量(たし水量) 点滅　　たし湯の燃焼中 点灯　　矢印が動きます

》しくみ
- 【たし湯の場合】設定したふろ温度のお湯が、約20L入ります。
- 【たし水の場合】水が約10L入り、その後約3Lのお湯が入ります。《 お湯が入るとき炎マーク点灯 》

たし湯量(たし水量)表示が点滅している約10秒間は
ふろ湯量スイッチで、たし湯量(たし水量)が変更できます





たし湯の設定範囲(L)：10、20、40、60、80、100
たし水の設定範囲(L)：10、20、30、40、50、60

》しくみ
- 変更したたし湯量・たし水量は記憶しません。
- 操作後約10秒たつと、元の画面に戻ります。

【たし湯・たし水 完了】

《 たし湯ランプ・たし水ランプ消灯 》

■ たし湯を途中でやめたいとき → たし湯スイッチを「切」にする 《 たし湯ランプ消灯 》

■ たし水を途中でやめたいとき → たし水スイッチを「切」にする 《 たし水ランプ消灯 》

- たし水を途中でやめても、約3Lのお湯が入ります。《 お湯が入るとき炎マーク点灯 》

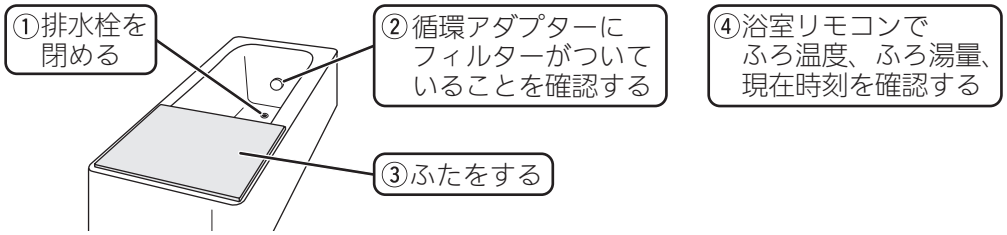
お知らせ

- たし湯・たし水中に台所やシャワーでお湯を使うと、たし湯・たし水を中断します。お湯を使い終わると再開します。
- ふろ自動ランプ点滅中は、たし湯・たし水をすることができません。

おふろ沸かしを予約する <ふろ予約>

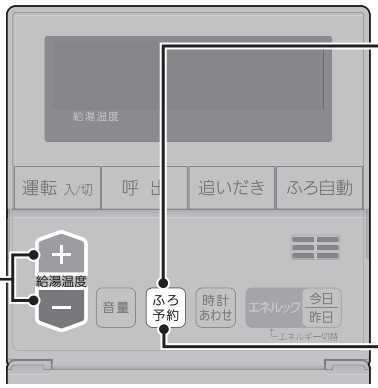
- ご希望の時刻におふろを沸かすことができます。一度予約時刻を設定すれば記憶しますので、ふろ予約スイッチを押すだけで毎回同じ時刻におふろが沸き上がります。
- 予約時刻(沸き上がり時刻)の約30分〜60分前にふろ自動を開始するため、60分前までには予約してください。
- 残り湯があっても、ふろ予約できます。その場合の沸き上がり湯量は、設定したふろ湯量で沸き上がります。
- 運転スイッチ「入」「切」どちらでも設定できます。

準備



手順

操作できるリモコン **台所**



1 ふたの中のふろ予約スイッチを押す

★ヒント
- ふろ予約スイッチを押したとき、「ピピピ」と鳴ったり、ふろ予約の設定画面にならないとき →時計をあわせてください。(P16)

2 給湯温度スイッチで沸き上がり時刻を設定する

表示例



点滅　前回設定した予約時刻が点滅　例：19時30分

»しくみ
- 一度押すごとに10分ずつ、長押しすると1時間ずつ変わります。
- 設定した予約時刻は記憶します。

3 ふろ予約スイッチを押す

表示例(運転スイッチ「入」時)



点灯

ふろ温度が約10秒間点灯し、元の画面に戻ります(運転スイッチ「切」時に設定した場合は、ふろ温度は点灯しません)

注意
- ふろ予約スイッチを押さなければ予約されません。

【ふろ自動 開始】

予約した時刻におふろが沸き上がるように、約30分～60分前に開始します

《 ふろ自動ランプ点滅 》《 燃焼中 炎マーク点灯 》

》しくみ

●ふろ予約の場合は、入浴できる状態に近づいても音声でのお知らせはしません。

【沸き上がり】

《 ふろ自動ランプ点灯 》《 ふろ予約マーク消灯 》

》しくみ

●メロディと音声でお知らせします。

【自動保温】

《 燃焼中 炎マーク点灯 》

■ ふろ自動が始まる前に、予約をやめたいとき

ふろ予約スイッチを押して、予約を解除する

《 ふろ予約マーク消灯 》

■ ふろ自動が始まったあとで、ふろ自動をやめたいとき

ふろ自動スイッチを「切」にする

《 ふろ自動ランプ消灯 》《 ふろ予約マーク消灯 》

★ヒント

●ふろ予約スイッチでも「切」にすることができます。

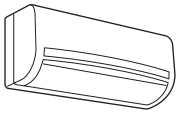
お知らせ

●前日などの残り湯(水)があるときや、ふろ自動が始まったあとでお湯を使ったときは、沸き上がり時刻が遅くなる場合があります。

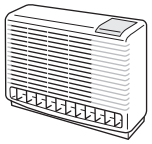
暖房する

暖房放熱器の運転スイッチを「入（切）」にすれば、暖房を開始（停止）します

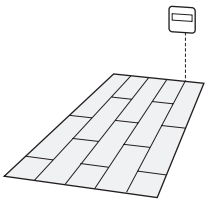
浴室暖房乾燥機



ファンコンベクター
ルームヒーター



床暖房

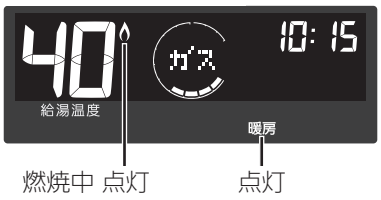


手順

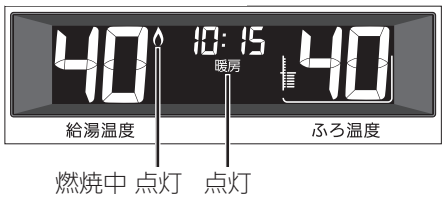
台所リモコンや浴室リモコンでの操作は不要です

1 ①暖房する部屋の暖房放熱器の運転スイッチを「入」にする
②必要に応じて、暖房放熱器の温度などを調節する

台所リモコンの表示例



浴室リモコンの表示例



» しくみ
- 運転スイッチの「入」「切」に関係なく、暖房できます。
- パネルヒーターが併設されている場合は、パネルヒーターのバルブを開けておくと同時に暖房します。

★ ヒント
- 暖房放熱器の調節方法などについては、暖房放熱器側の取扱説明書に従ってください。

■ 暖房をやめたいとき

暖房放熱器の運転スイッチを「切」にする

《 暖房表示消灯 》

お知らせ
- 暖房と、給湯または追いだき（ふろ自動含む）を同時に使うと、暖房能力が低下する場合があります。

手動ふろ配管クリーンをする

●「ふろ配管クリーン」は、ふろ配管内に新しいお湯を流して、ふろ配管内の残り湯を押し出す機能です。

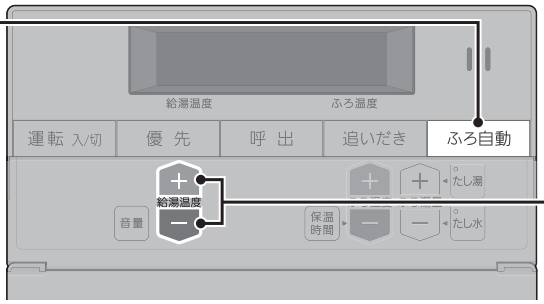
手順

操作できるリモコン **台所** 浴室 ／ 記載例 浴室

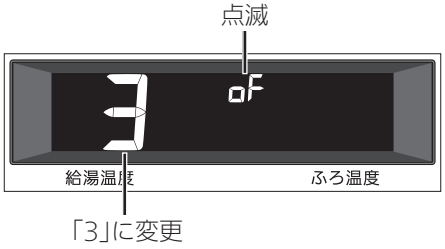
1 浴槽の残り湯を排水する

2 運転スイッチを「切」にする
《 運転ランプ 消灯 》

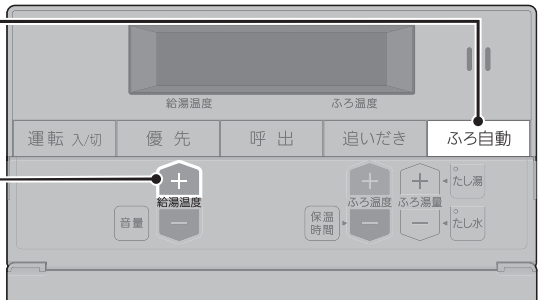
3 ふろ自動スイッチを約2秒長押しする（ピッと鳴るまで）



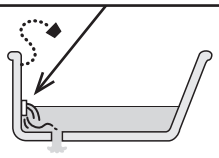
4 ふたの中の給湯温度スイッチで左側の番号を「3」に設定する



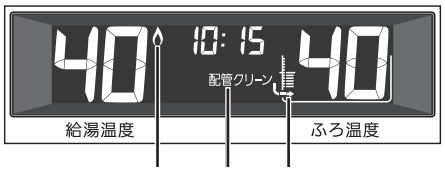
5 ふろ自動スイッチを押し、給湯温度スイッチの ＋ を押す
（すぐに運転スイッチが「入」になり、ふろ配管クリーンが始まります）



機器がふろ設定温度のお湯を約7L流して、ふろ配管内の残り湯を押し出し、自動的に止まります



表示例



燃焼中 点灯　点灯　矢印が動きます

●途中でふろ配管クリーンをやめたいときは、運転スイッチを「切」にしてください。

お知らせ

●湯あかはたまりにくくなっていますが、雑菌などが気になる場合は市販のふろがま洗浄剤をお試しください。（ふろがま洗浄剤の説明書に従って正しく洗浄してください）

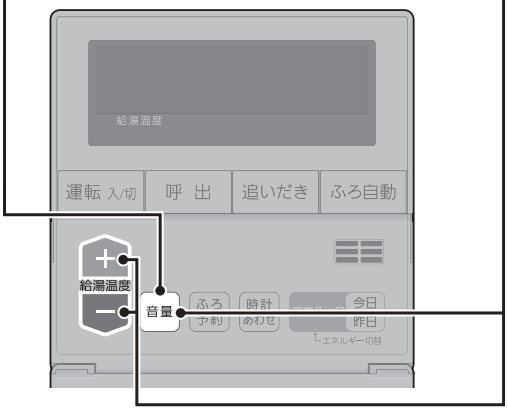
リモコンの音量を変更する <音量>

●リモコンの以下の音量が変わります。
　・スイッチを押したときに鳴る音(操作音)　　・声によるお知らせ(音声ガイド)
　・呼出スイッチによる呼び出し音　　・メロディ
●運転スイッチ「入」「切」どちらでも設定できます。

手順

操作できるリモコン **台所** 浴室 ／ 記載例 **台所**

1 ふたの中の音量スイッチを押す



2 音量スイッチまたは給湯温度スイッチで音量を変更する

表示例



音量 点滅

設定範囲
0(消音)、1(小)、2(中)、3(大)

» しくみ
- 変更したリモコンのみ、音量が変わります。
- 「0」に設定しても、呼び出し音(P31)は鳴ります。
- 操作後約10秒たつと、元の画面に戻ります。

- 「声によるお知らせ(音声ガイド)」のみ消したいとき → P36の番号1
- 「沸き上がりのお知らせ」のみ消したいとき → P37の番号14
- 「沸き上がる前のお知らせ」のみ消したいとき → P38の番号28

浴室または台所を呼び出す <呼出>

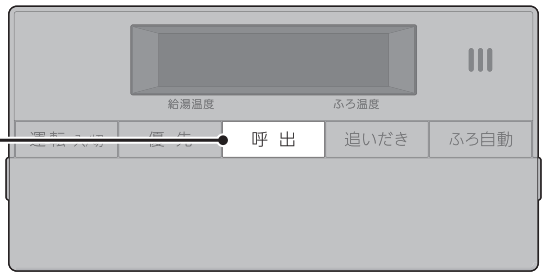
●浴室から台所を、台所から浴室を、呼び出すことができます。（インターホンではないので会話はできません）
●運転スイッチ「入」「切」どちらでも呼び出しできます。

手順

操作できるリモコン **台所** 浴室 ／ 記載例 浴室

1 呼出スイッチを押す

《 呼出ランプ点灯→消灯 》



》しくみ

●呼び出し音が鳴ります。
●押し続けると、手を離すまで呼び出し音をくりかえします。

お知らせ

●リモコンの音量「0」の設定（P30）でも、呼び出し音は鳴ります。

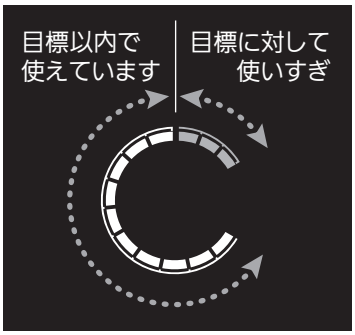
エネルックでガスやお湯などの使用状況

- エネルックは、台所リモコンで見ることができます。エネルックを正しく見るためには、時計あわせが必要です。(P16)
- 必要に応じて、表示や単価料金・目標値などの設定を変更できます。(P34)
- エネルックの表示は、1時間に1回、もしくはエネルックスイッチを押したときに更新されます。

● 運転スイッチ「入」時は、台所リモコンに今日のガス・お湯の使用状況とCO_2排出量を、常に表示します<エネリング>

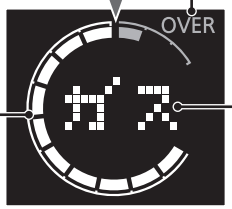
エネリング(グラフ)の見かた

目標に対して、今日はどれくらい使用しているかを示します。
(1目盛=目標の約10%)



ここの位置が「目標」です
過去2週間の使用分(CO_2の場合は排出量)の平均値を、一日に使用する目安の目標とします。

目標を超えると、 OVERが点灯します。
(故障・異常を表すものではありません)



ガス→お湯→CO_2→・・・
と約20秒ごとに切り替わります。

(「ガス」の使用状況例)

そんなに使ってないはずなのに
OVER が出るのはなぜ?(P48)

● よりくわしい状況を確認するには

1 運転スイッチを「入」にする

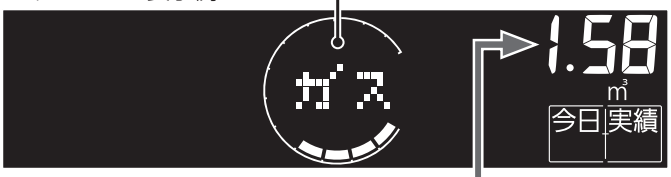
《 運転ランプ点灯 》



2 ふたの中のエネルックスイッチを押す

エネルック を押すごとに、ガス→お湯→CO_2→・・・と、見るエネルギーが切り替わります

エネリングの表示例

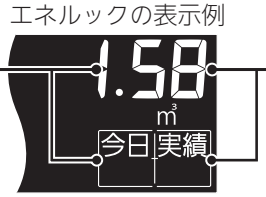


【単価料金を「0円」に設定している場合(P34,35)】
実績や目標値を、使用量で表示します。

【単価料金を「0円」以外に設定している場合(P34,35)】
実績や目標値を、料金と使用量で表示します。

3 今日/昨日スイッチや給湯温度スイッチで見たい表示に切り替える

エネルックの表示例



今日/昨日 を押すごとに、
「今日」「昨日」が切り替わります

給湯温度 + − を押すごとに、
「実績」「目標」が切り替わります

(単価料金と目標値を設定していれば(P34,35)、+ − を押すごとに、料金の実績⇔使用量の実績⇔料金の目標値⇔使用量の目標値を表示します)

を見る

● 運転スイッチを「切」にしたとき

単価料金を設定している場合(P34,35)は、運転スイッチを「切」にすると、今日の料金の実績を約3秒間表示してから画面が消灯します。(表示するエネルギーは、運転スイッチを「切」にするたびに変わります)

確認できるエネルギーや表示する値について

● 給湯暖房用熱源機で使用したガス・お湯の状況を確認できます

- 0：00から次の0：00までの使用分を「1日分」として、積算します。
- 給湯暖房用熱源機を通らないガス(ガスコンロ、ファンヒーターなど)や給湯暖房用熱源機を通らない水道(トイレ、屋外水栓など)の使用分は、積算しません。
- 運転スイッチ「切」時にお湯側から水を出した場合は、給湯暖房用熱源機内を通るので「お湯使用分」として積算します。

● 表示する値は、実際の使用量や料金とは異なります

- リモコンに表示する使用量・料金などの値は目安です。
- リモコンに表示する料金に基本料金は含みません。
- ガス・水道の料金は、ご家庭に設置されている各メーターの使用量に応じて請求されます。リモコンに表示する金額で請求されることはありません。(ガス・水道については、給湯暖房用熱源機以外で使用する場合があるため、請求額が大きく異なります)
- ガス・水道の実際の単価料金は、使用量に応じて変動します。

エネルックの設定を変更する

- 台所リモコンで設定します。（設定中はエネリングを表示します）
- ガス・水道の単価料金は、それぞれの「使用量のお知らせ」などの明細書を参考にしてください。（各明細書について不明な場合は、それぞれの事業者にお問い合わせください）
- 目標値を変更する場合は、明細書を参考にしてください。
- CO_2排出量は、各エネルギーの使用量にCO_2換算値をかけた値で表示します。

★：初期設定

1 変更したい内容の番号を確認

2 台所リモコンで 運転 入/切「切」 ➡ エネルック ピッと鳴るまで押す（約2秒間）

3 給湯温度 ＋ － 変更したい番号を選ぶ

4 エネルック 押す ➡ 給湯温度 ＋ － 内容を変更する

5 終了は 運転 入/切「入」または約60秒放置

CO_2排出量のエネルギーの種類を変更したい	1	1 3	1 1 ～ 1 3	**1**：ガスのみ **2**：お湯のみ **3**：ガス＋お湯★
常に表示するエネリングの表示内容を変更したい	2	2 0	2 0 ～ 2 3	**0**：自動切り替え★ **1**：ガス **2**：お湯 **3**：自動切り替え （**0**と**3**は同じです。 表示が「ガス→お湯→CO_2→ガス･･･」と自動的に変わります）
表示は出ますがこの設定は関係ありません	3	3 0		
ガスの単価料金を変更したい	6	6 100	6 0 ～ 6 999	**0～999** 円/m^3 料金表示を出したくない場合は、**0**に設定してください。 （★：100）
ガスの1か月の使用量の目標値を変更したい	7	7 0	7 0 ～ 7 999	**0～999** m^3 **0**に設定すると、目標が自動的に設定されます。 （★：0）
水道の単価料金を変更したい	8	8 200	8 0 ～ 8 999	**0～999** 円/m^3 料金表示を出したくない場合は、**0**に設定してください。 （★：200）
水道の1か月の使用量の目標値を変更したい	9	9 0	9 0 ～ 9 999	**0～999** m^3 **0**に設定すると、目標が自動的に設定されます。 （★：0）
エネリングの表示をやめたい	10	10 on	10 on 10 oF	**on**：表示する★ **oF**：表示しない

1 変更したい内容の番号を確認

2 台所リモコンで 運転 入/切 「切」 ➡ エネルック ピッと鳴るまで押す（約2秒間）

3 給湯温度 ＋ ／ － 変更したい番号を選ぶ

4 エネルック 押す ➡ 給湯温度 ＋ ／ － 内容を変更する

5 終了は 運転 入/切 「入」または約60秒放置

ガスのCO_2換算値を変更したい	12	12 2.21	12 0.01 ～ 12 9.99	**0.01～9.99** $kgCO_2/m^3$ （★：都市ガス→2.21※、LPガス→6.06 ※東京ガスの都市ガス13Aの代表組成より）
水道のCO_2換算値を変更したい	13	13 0.36	13 0.01 ～ 13 9.99	**0.01～9.99** $kgCO_2/m^3$ （★：0.36･･･環境省発表資料より）
エネルック設定を初期設定に戻したい	14	14 oF	14 oF 給湯温度 ＋ を長押し （ピッと鳴るまで 約5秒間）	表示が**on**になり、設定が初期設定に戻ります

使い勝手にあわせて設定を変更する(ユー

★：初期設定

1 変更したい内容の番号を確認

2 運転 入/切 「切」 ➡ ふろ自動 ピッと鳴るまで押す(約2秒間)

3 ＋ 給湯温度 － 変更したい番号を選ぶ

4 ふろ自動 押す ➡ ＋ 給湯温度 － 内容を変更する

5 終了は 運転 入/切 「入」または約60秒放置

声によるお知らせ(音声ガイド)を消したい	1	台所 浴室 それぞれ	1 on	1 on 1 oF	on：あり★ oF：なし
表示の節電をやめたい 時計をいつも表示させたい	2	台所 浴室 それぞれ	2 1	2 1 ～ 2 3	1：表示の節電をする★ 2：表示の節電をしない 3：表示の節電をしない/運転スイッチ「切」でも時計を表示する
ふろ配管クリーンを手動でしたい	3	台所 または 浴室	3 oF	3 oF ＋ 給湯温度 を押す	すぐにふろ配管クリーン開始 (運転スイッチが「入」になります)
自動保温の時間を変更したい 自動保温はいらない	4	台所 または 浴室	4 4	4 0 ～ 4 9	0：沸き上がり後、自動保温をしない 1～9：1～9時間 (★：4)
リモコンの音量を変えたい	8	台所 浴室 それぞれ	8 2	8 0 ～ 8 3	0：消音 1：小 2：中★ 3：大
給湯・シャワーの温度を制限したい	11	台所 または 浴室	11 60	11 32 ～ 11 60	上限の温度(℃)： 32、35、37～48(1℃きざみ)、 50、55、60★
お湯はりを給湯で中断しないようにしたい	12	台所 または 浴室	12 on	12 on 12 oF	on：給湯中はお湯はりを中断する★ ・お湯を使い終わると再開します。 ・中断した分、沸き上がりが遅くなります。 oF：給湯とお湯はりを同時に使う ・お湯の出が悪くなることがあります。 ・給湯・シャワーは、ふろ温度のお湯が出ます。
【浴室リモコンで追いだきする場合】 少し熱めに追いだきしたい	13	浴室	13 0	13 0 ～ 13 2	0：浴槽のお湯の温度＋約1℃追いだき★ 1：設定「0」よりもう少し高い温度まで追いだき 2：設定「1」よりもう少し高い温度まで追いだき ※どの設定の場合でも、浴槽のお湯の温度が設定したふろ温度より低いときは、設定温度まで沸かします。 ※設定を「1」や「2」に変更しても、設定温度＋3℃より高い温度には追いだきできません。

ザー設定）

★：初期設定

1	2	3	4	5
変更したい内容の番号を確認	運転 入/切 ➡ ふろ自動 「切」 ピッと鳴るまで押す（約2秒間）	給湯温度 ＋ / － 変更したい番号を選ぶ	ふろ自動 ➡ 給湯温度 ＋ / － 押す 内容を変更する	終了は 運転 入/切 「入」または約60秒放置

沸き上がりのお知らせを何度かしてほしい 沸き上がりのお知らせはいらない	14	台所 または 浴室	14 1	14 0 ～ 14 2	0：お知らせをしない 1：お知らせを1回する★ 2：お知らせをくりかえす（1回目はメロディ＋音声でお知らせ、その後約1分おきに「ピピピ」＋音声を5回くりかえし） ※台所リモコンで追いだきした場合や、追いだき保温時の追いだき完了のお知らせも含みます。
【浴室リモコンで追いだきする場合】 追いだき完了のお知らせをしたい	15	浴室	15 oF	15 on 15 oF	on：お知らせをする（浴室・台所とも） oF：お知らせをしない★
機器の水抜きをする	18	台所 または 浴室	18 oF	18 oF 給湯温度 ＋ を押す	表示がonになり、すぐに機器の水抜き開始 ※機器の水抜き中にoFを選択すると機器の水抜きを中止します。 この設定だけでは機器の水抜きはできません。「長期間使用しないとき（水抜きのしかた）」（P40）をご覧ください。
ユーザー設定を初期設定に戻したい	19	台所 または 浴室	19 oF	19 oF 給湯温度 ＋ を長押し（ピッと鳴るまで約5秒間）	表示がonになり、初期設定に戻る ※番号22「静音」の設定は、初期設定には戻りません。 ※音量スイッチで変えた音量も初期設定に戻ります。
ふろ温度や沸き上がりの温度を制限したい	20	浴室	20 oF	20 oF 20 33 ～ 20 48	oF：上限の温度は48℃★ 追いだきすると最高約50℃まで沸き上がります。 33～48：上限の温度は設定した値
暖房時の音が気になる<静音>	22	台所	22 oF	22 on 22 oF	on：暖房開始時の暖房能力を下げて運転音を下げる（台所リモコンに静音表示が点灯します） ※冷え込みが厳しいときは、あたたまりにくいことがあります。 oF：通常運転★

（つづく）

使い勝手にあわせて設定を変更する（ユーザー設定）（つづき）

★：初期設定

1 変更したい内容の番号を確認

2 運転 入/切 「切」 ➡ ふろ自動 ピッと鳴るまで押す（約2秒間）

3 ＋ 給湯温度 － 変更したい番号を選ぶ

4 ふろ自動 押す ➡ ＋ 給湯温度 － 内容を変更する

5 終了は 運転 入/切 「入」または約60秒放置

呼び出し音の種類を変えたい	27	台所 浴室 それぞれ	27 1	27 1 27 2	1：呼び出し音１★ 2：呼び出し音２
沸き上がる前のお知らせはいらない	28	台所 または 浴室	28 on	28 on 28 oF	on：お知らせをする★ oF：お知らせをしない

凍結による破損を予防する

- 暖かい地域でも、機器や配管内の水が凍結して機器が破損することがあります。破損事故を予防するために、下記をお読みいただいて必要な対策をしてください。
- 凍結により機器が破損したときの修理は、保証期間内でも有料になります。

対策1　通常の寒さのとき

気温が下がってきたら自動検知。
凍結予防ヒーター ＋ 浴槽水や暖房回路の循環で凍結予防する方法。

※配管や給水元栓などは予防できません。必ず保温カバーや電気ヒーターで予防してください。（わからないときは、販売店に確認してください）



こうしてください

●浴槽の循環アダプターの上まで、水か湯を残す
※リモコンの運転スイッチの「入」「切」に関係なく、自動的に凍結予防します。
（ポンプ運転はしますが燃焼はしません）
※ポンプが回ると「ウーン」と音がし、リモコンに凍結予防運転中マークが点灯します。
※水がないとポンプが空運転し、大きな音がします。

●電源プラグは差したまま（ブレーカーも「切」にしない）
※電源を切ると凍結予防ヒーターが作動しません。

●ガス栓は開けたまま
※自動的に暖房して、暖房回路の凍結予防をします。（炎マークが点灯し、ポンプの運転音（ウーン）がします）

対策2

- 低温注意報が発表されたとき
- 外気温が極端に低いとき（−15℃以下）
- −15℃より高くても風があるとき

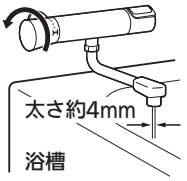
おふろの給湯栓から水を流し続ける方法。



こうしてください

●①リモコンの運転スイッチを「切」にする
②おふろの給湯栓から水を流したままにする
※約30分後に、流れる量を確認する。
※サーモスタット式混合水栓やシングルレバー式混合水栓の場合は、最高温度側にしてください。（次に使うとき、忘れずに戻してください）

●対策1もあわせておこなう



機器の水抜き

- 対策1と2をしても凍結するおそれのあるとき
- 長期間使用しないとき

大寒波が到来しそうなときや、長期間使用しないときは、機器の水抜きをお願いします。



水抜きの方法は　→P40の手順でおこなってください

凍結して、お湯や水が出なくなったら

凍結したまま使うと故障の原因に！

●まずリモコンの運転スイッチを「切」にしてください。（「切」にしないと燃焼する場合があります）
気温が上がり自然に解凍するまで待つことをおすすめします。 水が出るようになったら、水漏れがないか確認します。

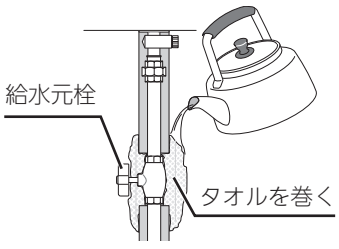
●すぐに使いたいときは、
①リモコンの運転スイッチを「切」にする
②台所などの給湯栓を少し開ける
③機器のガス栓を閉める
④給水元栓が回るかどうか確認する

給水元栓は回るのに水が出ないときは

給水元栓以外の場所が凍っています。
給水元栓を閉め、自然解凍を待つか、販売店または弊社窓口にご連絡ください。

給水元栓が凍結して回せないときは

タオルなどの布を給水元栓のまわりに巻き、30℃～40℃程度のぬるま湯をゆっくりかける
※必要に応じて、床面などがぬれないように処置をしてください。
※熱湯をじかにかけると配管が破裂するおそれがあります。また、配管以外（電源プラグやコード、電源コンセント）にお湯がかからないように注意してください。
※ガス栓と間違えないように注意してください。



給水元栓が回るようになれば解凍できたので、台所などの給湯栓を閉めてください。
※タオルを外し、給水元栓のまわりについた水を乾いた布でふき取ってください。
また、機器や配管から水漏れがないかよく確認してから使用してください。
※今後凍結しないように、給水元栓まわりに保温材を巻くなどの処置をご検討ください。
（わからないときは、販売店にご確認ください）

長期間使用しないとき（水抜きのしかた）

●長期間使用しないときや、不在時に凍結のおそれのある場合は、以下の方法で機器の水抜きをしてください。

⚠注意	**機器の水抜きをする場合、暖房放熱器を停止し、リモコンの運転スイッチを「切」にし、機器が冷えてからおこなう** 必ず守る やけど予防のため。機器の使用直後は、機器内のお湯が高温になっています。

※水抜き栓の位置は、P41のイラストを参照してください。

1 水抜き栓などからお湯（水）が約5L出るので排水を受ける容器を準備する。

2 機器のガス栓と給水元栓を閉める。（ガス栓と給水元栓の位置→P10）

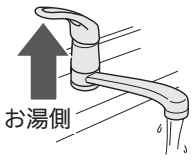
3 機器に貼り付けてあるラベルで、不凍液が入っているかどうか確認する。
- 「不凍液が入っています」のラベルがある場合→手順 **4** へ進む。
- 「不凍液が入っています」のラベルがない（不凍液が入っていない）場合
  →水抜き栓[1][2]を左に回して開けてから手順 **4** へ進む。
  ※機器内の凍結予防には必要な操作ですが、暖房放熱器や暖房配管の凍結予防はできません。寒冷地では不凍液のご使用をおすすめします。

4 浴槽内の水を完全に排水する。

5 ①リモコンでユーザー設定（P37）の番号18を「on」にして、機器の水抜きをする。
※操作後1～2分たつと、リモコンで「ピピッ」とお知らせ音が鳴ります。
②浴槽の循環アダプターから排水することを確認する。

- このあと、浴槽に水を流し込まない。
- 水抜きの途中で電源プラグを抜いたりブレーカーを「切」にしたりしない。
- 排水が始まったあとに水抜きを中止する場合は、運転スイッチを「入」にする。

6 台所・洗面所・浴室など、家中のすべての給湯栓を全開にする。



7 ※水抜き栓を開けると、勢いよく水が飛び散る可能性があります。
① 水抜き栓（フィルター付き）[3]を左に回して外す。
② 過圧防止安全装置（水抜き栓）[4]を左に回して外す。
③ 水抜き栓[5]を左に回して開ける。

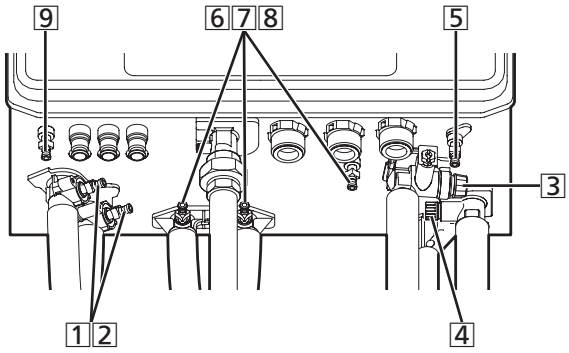
8 手順 **5** の操作から2分以上経過後、水抜き栓[6][7][8]を左に回して開ける。

9 【不凍液が入っている場合】3分以上経過後、手順 **10** に進む。
【不凍液が入っていない場合】水抜き栓[9]を左に回して開け、3分以上経過後、手順 **10** に進む。

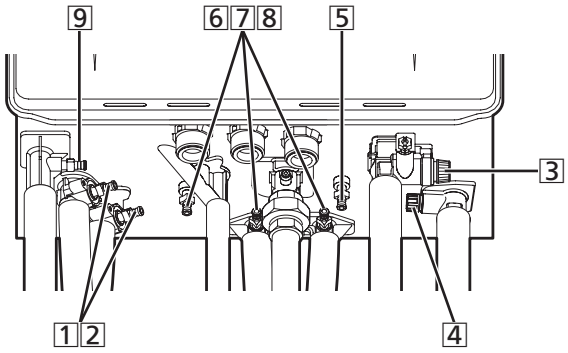
10 機器の電源プラグを抜く。
ぬれた手でさわらない

11 すべての水抜き栓から水が出なくなったことを確認したら、すべての水抜き栓・過圧防止安全装置（水抜き栓）・家中のすべての給湯栓を閉める。
確実に閉まっていることを確認する
※閉まっていないと、再使用時に排気ガスが漏れる場合があります

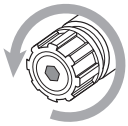
● 水抜き栓の位置　（各水抜き栓は、保温材などで見えにくいことがあります）



（例：DH-E2416SAWL）



（例：DH-CE2416SAWL）

水抜き栓1 2 5～9	水抜き栓（フィルター付き）3	過圧防止安全装置（水抜き栓）4
		

水抜き後の再使用のとき

1 すべての水抜き栓・過圧防止安全装置（水抜き栓）・家中のすべての給湯栓が確実に閉まっていることを確認する。

2 給水元栓を開ける。

3 家中のすべての給湯栓を開け、水が出ることを確認してから閉め、機器や配管から水漏れがないかよく確認する。

4 ガス栓を開け、電源プラグを電源コンセントに差し込む。
ぬれた手でさわらない

5 ポンプの呼び水をする。
① 浴室リモコンで運転スイッチを「入」にして、ふろ自動スイッチを「入」にする。
② 浴槽の循環アダプターから水が出てくることを確認する。
※リモコンに「111」が出たときは、運転スイッチをいったん「切」にし、手順①よりやり直す。
③ ふろ自動スイッチを「切」にする。

【水抜き後はじめての暖房・ふろ使用で、リモコンに「543」「173」が出る場合】
暖房放熱器側の運転とリモコンの運転スイッチをいったん「切」にし、以下のことを確認する。
- 機器の給水元栓が開いていること
- 水抜き栓1 2 9が閉まっていること

その後、電源プラグを抜き、再度差し込んで再使用してください。

日常の点検・お手入れのしかた

●点検・お手入れは定期的におこなってください。

⚠注意	**機器の点検・お手入れをする場合、暖房放熱器を停止し、リモコンの運転スイッチを「切」にし、機器が冷えてからおこなう** 必ず守る やけど予防のため。機器の使用直後は、機器内のお湯が高温になっています。

点検

排気口・排気筒トップにススがついていないか？
→Ⓐ
ついている場合：★

点検

【排気方向を上方へ変更するカバーを取り付けている場合】
カバーに雪が積もっていないか？ →Ⓐ
積もっている場合は、除雪する。

点検

排気口・給気口・排気筒トップがホコリなどでふさがっていないか？ →ⒶⒷ
ふさがっている場合は、掃除する。

点検

排気筒トップや排気筒が外れたり、穴があいたり詰まったりしていないか？
現象があった場合：★

点検

機器や排気口・排気筒トップのまわりに洗濯物・新聞紙・木材・灯油・スプレー缶など、燃えやすいものを置いていないか？
燃えやすいものを置かない。

点検

機器外装に異常な変色はないか？ →Ⓒ
現象があった場合：★

点検

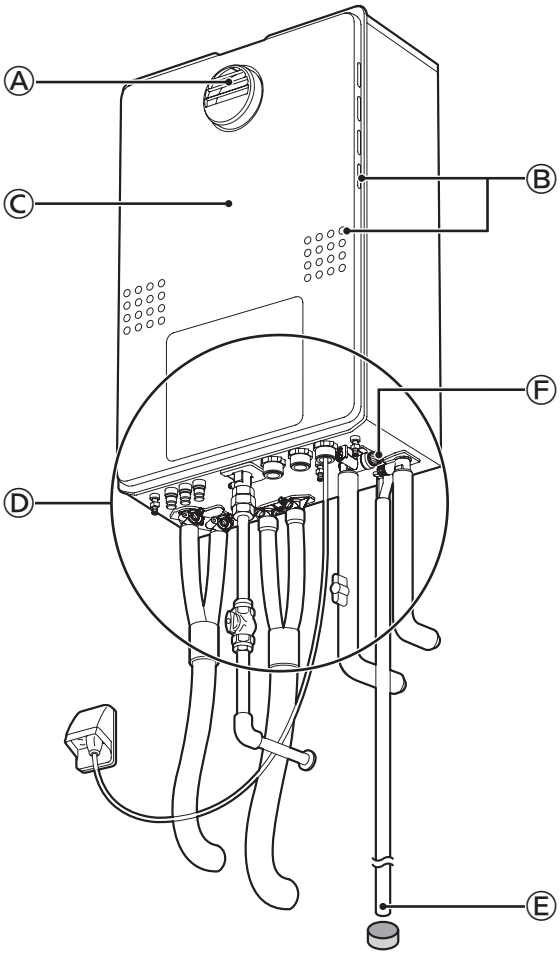
- **機器から異常音が聞こえないか？ →Ⓒ**
- **機器・配管から水漏れはないか？ →Ⓓ**

現象があった場合：
「故障・異常かな？と思ったら」の「機器全般」(P48)を確認する。それでもなおおかしいときは、販売店または弊社窓口に連絡する。

点検

- **ドレン配管の先にゴミ詰まりなどがないか？ →Ⓔ**
- **ドレン配管の先が水につかっていないか？ →Ⓔ**

ゴミなどは取り除く。
ドレン配管の先が水につかっている場合：★



（例：DH-E2416SAWL）

★の処置：販売店または弊社窓口へ連絡する。

点検

機器外装の下部周辺などにサビや穴開きはないか？ →Ⓓ
現象があった場合：★

※海に近く潮風が当たりやすい地域の場合、潮風によって、機器本体および配管接続部にサビが発生する場合があります。サビがひどい場合は、機器本体内部への影響も考えられますので、点検(有料)をおすすめします。

点検

【配管カバーまたは据置台がある場合】
配管カバーまたは据置台のフロントカバーにガタつきやゆるみがないか？
ガタつきやゆるみがないよう、ネジをしっかりと締める。

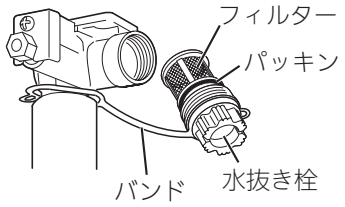
お手入れ　外装の汚れ →Ⓒ

ぬれた布で落としたあと、充分水気をふき取ってください。特に汚れのひどいときには、中性洗剤を使用してください。

お手入れ　水抜き栓のフィルター →Ⓕ

水抜き栓のフィルターにゴミなどが詰まると、お湯の出が悪くなったりお湯にならない場合がありますので、以下の方法で掃除をしてください。

①水抜き栓から水(お湯)が出るので、排水を受ける容器を準備する。
②機器の給水元栓(P10)を閉める。
③台所・洗面所など、すべての給湯栓を開ける。
④水抜き栓を左に回して外す。※1 ※2
⑤水抜き栓を、配管とつながっているバンドから外す。
⑥フィルター部分を歯ブラシなどで水洗いする。※3
⑦元どおりに水抜き栓を取り付ける。



⑧すべての給湯栓を閉める。
⑨給水元栓を開け、水抜き栓の周囲に水漏れがないことを確認する。

※1 このとき水(お湯)が出るので注意してください。
※2 水抜き栓が固くて回らない場合は、コインなどを水抜き栓の切り欠きに差し込んで、回してみてください。
※3 水抜き栓からフィルターが外れた場合は、水抜き栓とフィルターの間のパッキンをなくさないように注意してください。

お手入れ　リモコン

リモコンの表面が汚れたときは、湿った布で軽くふいてください。

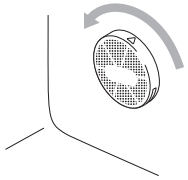
お手入れ　おふろの配管

- ポンプで浴槽の水を循環させるため、湯あかはたまりにくくなっていますが、雑菌などが気になる場合は市販のふろがま洗浄剤をお試しください。(ふろがま洗浄剤の説明書に従って正しく洗浄してください)
- ふろ配管クリーンによって配管内の残り湯を押し出すことができます。(P29)

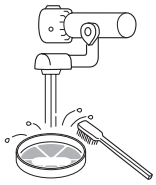
お手入れ　循環アダプターのフィルター(月に1度くらい)

フィルターが詰まると、おふろの温度がご希望の温度にならないおそれがありますので、以下の方法で必ずこまめに掃除してください。
※リモコンの運転スイッチを「切」にしてからおこなってください。
※フィルターは必ず正常に取り付けて使用してください。外したままや、正常に取り付けられていない状態で使用すると、機器が故障することがあります。

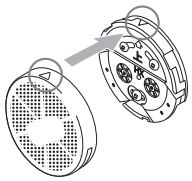
①循環アダプターのフィルターを左に回して外す



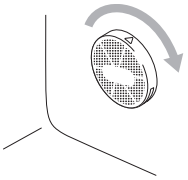
②歯ブラシなどで水洗いする



③△同士を合わせてはめ込む



④右に止まるまで回して固定する



(循環アダプターの形状は、異なる場合があります)

日常の点検・お手入れのしかた(つづき)

● 不凍液の種類と交換(有料)について

機器に貼り付けてあるラベルで、不凍液が入っているかどうか確認できます。

【不凍液の種類】 不凍液はあらかじめ濃度調整されているもの、もしくは原液を適切な濃度に希釈して使用する(希釈は周囲の気温によります。詳しくは不凍液をご確認願います)

【不凍液の交換】 不凍液は3年に1度交換してください。交換せずに使用された場合は、防サビと凍結予防の効果がなくなり、機器や暖房放熱器が破損するおそれがあります。
交換の際は、販売店または弊社窓口にご相談ください。
(不凍液の種類によっては、交換時期の長いものもあります。詳細は不凍液をご確認ください。)

● 定期点検のおすすめ(有料)

ご使用上支障がない場合でも、不慮の事故を防ぎ、安心してより長くご使用いただくために、年1回程度の定期点検をおすすめします。なお、給水用具(逆流防止装置)に関しては、日本水道協会発行の給水用具の維持管理指針に示されている定期点検の実施をおすすめします。時期は4〜6年に1回程度をおすすめします。点検は販売店にご相談ください。

あんしん点検について

機器の長期間ご使用時の「あんしん点検」(有料)のおすすめ

お買い上げいただいた製品は、長期間使用すると、経年劣化によって安全上支障が生じお客さまに危害を及ぼすおそれがあります。本製品は、使用期間の目安として「設計上の標準使用期間」を設けています。「設計上の標準使用期間」を超えてのご使用は、経年劣化による事故発生の危険度が高くなりますので、継続して使用される場合は、安全確保のために「あんしん点検」(有料)を受けてください。

● あんしん点検について

あんしん点検は、パロマまたはパロマが委託した事業者が行います。

【あんしん点検の内容について】

- あんしん点検は、お客さまの任意で受検していただく有料の点検です。
- 点検基準は、消費生活用製品安全法省令に定められた法定点検の基準を参考に、弊社で設定しています。
- あんしん点検の結果は、点検結果表にてお知らせします。
- 点検の結果、不適合となった場合には可能な限りの選択肢をお知らせします。この場合、整備(修理を含む)を行って使用を継続するかどうかはお客さまの判断となります。
  ※製品の修理に必要な補修用性能部品の保有期間は、裏表紙をご覧ください。
- あんしん点検は、点検時点での製品の安全を確認するためのもので、製品の延命や性能の保証を延長するものではありません。

【あんしん点検の料金について】

点検料金は、お客さまにご負担いただきます。また、点検の結果、整備が必要となった場合は、別途整備費用(有料)が発生いたします。点検料金は技術料、出張料などを合計した金額となります。

● 点検の時期について

本製品は、設計上の標準使用期間※を10年と算定しておりますので、ご使用開始から10年前後をめどに「あんしん点検」をお受けいただくことをおすすめいたします。

※設計上の標準使用期間とは、標準的な使用条件の下で、適切な取り扱いで使用し、適切な維持管理が行われた場合に、安全上支障なく使用することができる標準的な期間として設計上設定される期間になります。「無料修理保証期間」とは異なりますのでご注意ください(無料修理保証期間は無料修理保証書を参照願います)。

● お客さま情報の登録について

製品安全に関する情報や点検に関する情報を提供させていただくために、お客さま情報を登録されることをおすすめします。
同梱の所有者票の返信もしくはインターネットにて、お客さま情報の登録ができます。
ご登録いただいたお客さま情報は、個人情報保護法および当社規定により適切な安全対策のもとに管理し、任意点検やリコール等の製品安全に関するお知らせをする場合以外には使用いたしません。
インターネットでの登録は、右記のアドレスへアクセスしてください。　https://www.paloma.co.jp/touroku/

故障・異常かな？と思ったら

絵表示の説明　❓：こんなときは（状況）　■：こんなことが考えられます（原因）　➡：こうしてください（処置）

お湯・シャワー

❓ 給湯栓を開いてもお湯が出てこない、お湯にならない

■ リモコンに3桁の英数字が点滅していないか確認する。
➡点滅していれば、P50を確認し、必要な処置をする。
■ ガス栓・給水元栓が全開になっていない。
➡ガス栓・給水元栓を全開にする。
■ 断水している。
➡復旧を待つ。
■ ガスメーター（マイコンメーター）がガスを遮断している。
➡ガス事業者に連絡する。
■ LPガスの場合、ガスがなくなっている。
➡他のガス器具が使用できるか確認し、使用できなければガスがなくなっているので、ガス事業者に連絡する。
■ 水抜き栓のフィルターにゴミなどが詰まっている。
➡P43の方法でお手入れする。
■ 凍結している。
➡P39「凍結して、お湯や水が出なくなったら」を確認し、必要な処置をする。
■ 夏場などの水温が高いときは、ぬるいお湯を少量出そうとすると、お湯になりません。
➡給湯温度を上げるか、給湯栓をもっと開いて使用する。

❓ 給湯栓を絞ると水になった

■ 給湯栓から流れるお湯の量が1分間に約2.0L以下になったとき消火します。給湯栓をもっと開いてお湯の量を多くすれば、お湯の温度は安定します。
➡異常ではありません。

❓ お湯がぬるい

■ サーモスタット式混合水栓の場合は、リモコンの給湯温度をハンドルの温度より約10℃高く設定すると、ちょうどよくなります。
➡異常ではありません。

❓ 熱くなったりぬるくなったり温度が安定しない

■ 夏場などの水温が高いときは、ぬるいお湯を少量出そうとすると、温度が安定しません。
➡給湯温度を上げるか、給湯栓をもっと開いて使用する。

❓ 給湯栓から出るお湯の量が変化する

■ お湯を使用中に、他の場所でお湯を使用したりふろ自動や追いだきをすると、お湯の量が減る場合があります。
➡異常ではありません。
他の場所での使用をやめたり、ふろ自動や追いだきが終わると、元に戻ります。
■ 水道の圧力や配管条件によっては、お湯の量が変化する場合があります。また、水栓の種類によっては、初め多く出てその後安定するなど、お湯の量が変化するものがあります。
➡異常ではありません。
■ お湯の温度を安定させるため、お湯の出はじめは少なく出し、安定するとお湯をたくさん出すように機器側で制御します。
➡異常ではありません。

❓ お湯が出てくるまで時間がかかる

■ 暖房やふろ自動（または追いだき）と給湯を同時に使ったあとに、再度給湯すると、しばらく低い温度のお湯が出ることがあります。
➡異常ではありません。

❓ お湯が白くにごって見える

■ 水中に溶け込んでいた空気が熱せられ、細かい泡となって出てくる現象で、無害なものです。
➡異常ではありません。

温度が変えられない

❓ 給湯温度の調節ができない

■ 操作しているリモコンが優先になっていない。
➡優先切替する。（P18）

❓ 給湯温度の設定がある温度以上、上げられない

■ ユーザー設定の番号11で、給湯・シャワーの温度を制限している。
➡給湯・シャワーの温度の上限の設定を確認する。（P36）

❓ ふろ温度の設定がある温度以上、上げられない

■ ユーザー設定の番号20で、ふろ温度や沸き上がりの温度を制限している。
➡ふろ温度の上限の設定を確認する。（P37）

おふろ

❓ 浴槽に水がないのに追いだきしてしまった

■ 空だきにはなりませんので、ご安心ください。浴槽に水がない状態でしばらく追いだきしても、空だき安全装置がはたらいて、空だきになる前に機器が停止します。
➡故障表示「632」を表示した場合は、運転スイッチを「切」「入」すれば、故障表示は消えます。

❓ お湯はりのはじめに水が出る

■ 配管内にたまっていたお湯がさめて、お湯はりのはじめに出る場合があります。
➡異常ではありません。

❓ 沸かしはじめに、浴槽の循環アダプターから「ボコ、ボコ」と空気の出る音がすることがある

■ おふろの配管などにたまった空気が出る音です。
➡異常ではありません。

❓ 浴槽の循環アダプターからお湯が出たり止まったりする

■ ふろ自動スイッチを「入」にすると、残り湯の量を確認するためにポンプが作動し、しばらくは循環アダプターからお湯が出たり止まったりします。
➡異常ではありません。

浴槽の循環アダプターから出るお湯の温度が変化する

■ ふろ自動(または追いだき)と給湯や暖房を同時に使うと能力が下がるため、起こる現象です。
➡異常ではありません。
いずれかの使用をやめると改善します。

ふろ自動や追いだきの沸き上がりがいつもより遅い お湯はり(ふろ自動、たし湯)が途中で停止した

■ ふろ自動と給湯を同時に使うと、給湯側のお湯の出をよくするためにお湯はりを一時中断します。そのため、沸き上がりが遅くなったり、お湯はりが途中で停止したりします。
➡異常ではありません。
P36の番号12の方法でお湯はりを中断しないように変更できます。

■ ふろ自動(または追いだき)と給湯や暖房を同時に使うと能力が下がったり、ポンプ運転が一時中断したりするため、沸き上がりが遅くなる場合 があります。
➡異常ではありません。
いずれかの使用をやめると改善します。

設定したふろ湯量どおりに沸き上がらない

■ 浴槽の循環アダプターのフィルターに、ゴミや毛髪などが詰まっている。
➡P43の方法でお手入れする。

■ 残り湯をふろ自動で沸かし直すと、設定した湯量どおりになりません。(P22)

おふろのお湯がぬるい、おふろのお湯が熱い

■ 浴槽の循環アダプターのフィルターに、ゴミや毛髪などが詰まっている。
➡P43の方法でお手入れする。

■ 浴槽の循環アダプターのフィルターが確実に取り付けられていない。
➡P43の方法で確実に取り付ける。

追いだきができない、追いだきが途中で停止した

■ 浴槽の循環アダプターのフィルターに、ゴミや毛髪などが詰まっている。
➡P43の方法でお手入れする。

■ 断水している。(断水すると、浴槽にためている水が機器に逆流するのを防ぐために、残り湯の追いだきはできないしくみになっています)
➡復旧を待つ。

追いだき時、浴槽の循環アダプターから出るお湯の温度が変化する

■ しくみ上、断続的に燃焼と消火をくりかえすことがあります。
➡異常ではありません。

追いだきしてもふろ温度が上がらない

■ ふろ温度の上限を設定している。
➡P37の番号20の設定を確認する。

追いだきしないのに浴槽の水があたたかくなる

■ 暖房使用中に、ふろ配管の凍結予防(ポンプ運転)がはたらくと、浴槽の水があたたかくなることがあります。
➡異常ではありません。

おふろを使用していないのに浴槽の循環アダプターからお湯(水)が出る

■ 凍結予防のためポンプが作動し、配管に残っている水が循環アダプターから出る場合があります。
➡異常ではありません。

暖房

床面のあたたかさが場所によって異なる

■ 温水配管内に温水を循環させて床をあたためるしくみになっています。温水配管の通っているところと通っていないところでは、床面の温度に多少の差が生じます。
➡異常ではありません。

床暖房中に音がする

■ 床暖房の熱によって、温水床暖房マットや床仕上げ材などが収縮・膨張するため発生する音、または温水の流れる音です。
➡異常ではありません。

床暖房を使用していないのに床があたたまることがある

■ 暖房回路内の空気抜きや凍結予防のためにポンプが作動したときに、他の暖房放熱器を使用していると、一時的に床があたたまることがあります。
➡異常ではありません。

暖房がなかなかあたたまらない
浴室暖房乾燥機の温風の温度が変化したり低くなったりする
床暖房の温度変更をしていないのに床面の温度が下がった

■ ふろ自動(または追いだき)と暖房を同時に使うと能力が下がるため、起こる現象です。
➡異常ではありません。
いずれかの使用をやめると改善します。

■ 複数の温水暖房放熱器(浴室暖房乾燥機や床暖房など)を同時に使用すると、給湯暖房用熱源機の能力が複数の暖房放熱器に分配されるため、起こる現象です。
➡異常ではありません。
いずれかの使用をやめると改善します。

■ 床仕上げ材の種類・外気温度・住宅構造などによって、あたたかくなるまでの時間は異なります。(目安:1時間程度)
➡異常ではありません。

■ 床暖房しはじめは、早く床面をあたためるために高温の温水を流し、ある程度時間がたつと、温水を一定の温度に下げます。
➡異常ではありません。

床面の足ざわりが場所によって異なる

■ 温水配管やその接続部などがあるため、床面の足ざわりが周囲と異なる場合があります。
➡異常ではありません。

床面に凹凸や段差がある

■ 温水床暖房マットを2枚以上併設しているときや、床仕上げ材と周辺の継ぎ合わせ部などには多少の凹凸があるため、光の当たり具合により目立つことがあります。
➡異常ではありません。

(つづく)

故障・異常かな？と思ったら(つづき)

暖房(つづき)

床面の継ぎ目にすき間がある

■暖房を使用することにより、乾燥して仕上げ材が収縮し、継ぎ目にわずかなすき間が生じる場合があります。
➡異常ではありません。

床面が変色した

■床仕上げ材に直射日光が長時間当たると、日焼けによる変色やひび割れが生じる場合があります。
➡カーテンやブラインドで日差しをさえぎる。

暖房を使用していないのにパネルヒーターがあたたまることがある

■パネルヒーターのバルブが開いているときに追いだきをしたり、凍結予防運転がはたらくと、パネルの温度が上がります。
➡パネルヒーターのバルブを閉める。

リモコンの表示や画面など

運転ランプが点灯しない

■電源プラグが抜けている。
➡電源プラグの確認を。

時計表示が「ー：ーー」になっている

■停電のあとや電源プラグを抜いたあとは「ー：ーー」になる場合があります。
➡時計をあわせ直す。(P16)

表示の節電の状態にならない

■ユーザー設定の番号2が「2」か「3」になっている。
➡「1」にする。(P36)
■給湯温度を60℃に設定している場合や、ふろ自動ランプ点灯中は、表示の節電はしません。
➡異常ではありません。
■日中でも低い気温が続いて凍結予防運転が連続してはたらいた場合、表示の節電にならないことがあります。
➡異常ではありません。

画面表示がいつのまにか消えている

■リモコンの節電のため、「表示の節電」機能を備えています。お湯や暖房を使わないまま、またはスイッチを押さないまま約10分(浴室リモコンでは、おふろの機能を使った場合約1時間)たつと画面表示が消えます。
➡お湯を使ったり、スイッチを押すと、表示の節電を解除します。

スイッチを押しても、そのスイッチの動作をしないときがある

■画面が消えているとき(表示の節電中)にスイッチを押すと、優先スイッチや音量スイッチなど、スイッチによっては表示の節電の解除のみするものがあります。
➡異常ではありません。

たし水なのに炎マークが点灯する

■たし水の最後にお湯が約3L入るしくみになっています。このとき炎マークが点灯します。
➡異常ではありません。

❄マークが点灯している

■凍結予防のためポンプが作動しているときに点灯します。
➡異常ではありません。

スイッチや表面のビニールが破れてきた、はがれてきた、浮き上がって空気が入っている

■表面のビニールは保護シートです。はがさずに使用してもはがして使用してもかまいません。はがさずに使用した場合は、よく触れる部分などが破れてきたりはがれてきたりしますが、そこからリモコンに水が入って故障することはありません。
➡気になる場合は保護シートをはがす。

そんなに使ってないはずなのに OVER の表示が出る

■【お湯の使用量は今までと変わらないのに出る場合】
気温が低くなると水温が下がり、ガスの消費量が増えるため、OVER が出やすくなります。
■【入居後や機器設置後の使いはじめの場合】
機器の設置後～前日までの使用分の平均が目標値になるため、今日の使用量がそれを超えるとOVERが出ます。
■【旅行などでしばらく使わなかった場合】
過去2週間の使用量がない(または少ない)ため、OVER が出ます。
➡いずれの場合も異常ではありません。数日間使ってガスの消費量が目標値(過去2週間の使用量の平均)を下回ると、OVER が消えます。

機器全般

排気口・排気筒トップから湯気(白い煙のようなもの)が出る

■この機器で排出される燃焼ガスは温度が低く、水分を多く含んでいるため、外気に触れると結露し、白い湯気に見えます。
➡異常ではありません。
■機器を使用していない場合でも、暖房回路の凍結予防時には、白い湯気が出ます。
➡異常ではありません。

機器から水漏れしている

■【ドレン配管から水が出ている場合】
機器内に発生した凝縮水をドレン配管から排出します。(最大100mL/分程度)
➡異常ではありません。
■【過圧防止安全装置(水抜き栓)から水が出ている場合】
機器内に高い圧力が生じたとき、過圧防止安全装置がはたらき、過圧防止安全装置付の水抜き栓から水滴が落ちることがあります。
➡異常ではありません。

使用していないのに音がする

■【運転を停止しても、しばらくの間機器から音がする場合】
【運転スイッチを「入」「切」したり、給湯栓を開閉したり、機器の使用後しばらくするとクックッ、クーという音がする場合】
再使用時の点火をより早くするため、また、再使用時にお湯の温度を早く安定させるために機器が作動している音です。
➡異常ではありません。

■【機器からウーンという音がする場合】
ポンプが自動的に作動する音です。
- 追いだき終了後(お湯をまぜるため)
- ふろ予約時の予約時刻1〜2時間前(残り湯チェックのため)
- 気温が低いとき(凍結予防のため)
- 暖房を長期間使用しないとき(暖房回路の空気抜きのため約1か月ごとに作動)

➡異常ではありません。

水が青く見える
浴槽や洗面台が青く変色した

■ 水中に含まれる微量の銅イオンと、人体のあかやせっけんなどに含まれる脂肪酸とが反応して、浴槽や洗面台が青く着色することがあります。
➡こまめに掃除をして湯あかやせっけん成分を洗い流すことで、これを予防できます。

リモコンに3桁の英数字が点滅しているとき <故障表示>

●不具合が生じたとき、リモコンに故障表示が点滅します。下表に応じた処置をしてください。

お客さまで対処できるもの

■：原因　➡：処置

002	■初めてふろ自動するとき、浴槽に試運転時の水などが残っていた ➡**①再度ふろ自動スイッチを押す。(故障表示消灯)** **②次回ふろ自動をするとき、浴槽内に残り湯がない状態でおこなう。** **(それ以降は残り湯があってもふろ自動できます)**
011	■連続60分以上給湯した ➡**①給湯栓を閉める。** **②運転スイッチを「切」にし、再度「入」にして使用する。**
012	■連続90分以上追いだきした ➡**①運転スイッチを「切」にし、再度「入」にする。** **②浴槽のお湯の温度が高温になっている場合は、安全のため点検を受ける。**
032	■浴槽の排水栓の閉め忘れ ※リモコンの音声「おふろの栓を確認してください」でもお知らせします。 ➡**①浴槽の排水栓が閉まっていることを確認する。排水栓にゴミ、異物などが挟まっていないか確認し、挟まっていれば取り除く。** **②循環アダプターのフィルターが詰まっていないか確認し、詰まっていれば掃除する。** **③循環アダプターのフィルターが正しく取り付けられているか確認し、取り付けられていなければ正しく取り付ける。** **④再度ふろ自動をして、表示・音声が出なければ正常。**
111 113	■**【111】**給湯側の点火エラー **【113】**暖房側の点火エラー ➡**①運転スイッチを「切」にする。【113】の場合は、暖房放熱器も停止する。** **②以下の事項を確認して問題があれば処置する。** • ガス栓が開いていなければ、きっちり止まるまで開ける。 • ガスメーター(マイコンメーター)がガスを遮断していたら、ガス事業者に連絡する。 • LPガスがなくなっていたら(他のガス器具が使用できなかったら)、ガス事業者に連絡する。 **③【111】運転スイッチを「入」にし、給湯栓を開いて表示が出なければ正常。** **【113】運転スイッチを「入」にし、暖房放熱器を運転するか、追いだきスイッチを「入」にして表示が出なければ正常。**
290	■ドレン配管の異物詰まりや凍結により、機器内に発生した凝縮水が排出できなくなっている ➡**①ドレン配管の先にゴミなどが詰まっていないか確認し、ゴミなどが詰まっていれば取り除く。(P42)** **②冬場寒いときは、ドレン配管が凍結している可能性があるので、気温が上昇して自然解凍するのを待つ。** **③その後運転スイッチを「切」にし、再度「入」にして表示が出なければ正常。** **※上記に該当しない場合や上記の処置をしてもなお故障表示をくりかえすときは、機器内の中和装置に詰まりが発生しているなどの原因が考えられます。また、冬場寒いときに故障表示が何度も出るような場合は、ドレン配管の凍結予防処置(有料)が必要な場合があります。販売店または弊社窓口にご相談ください。**
562	■断水などで水が通っていない(ふろ自動、追いだき、たし湯、たし水のとき) ➡**①給水元栓が開いているか、断水していないか(水栓から水が出るか)を確認する。** **②運転スイッチを「切」にし、通水を確認してから再度「入」にして使用する。**
632	■おふろの追いだきのとき、浴槽のお湯(水)が足りない ➡**①運転スイッチを「切」にし、再度「入」にする。** **②浴槽の循環アダプターの上までお湯(水)を入れてから追いだきをする。** ■循環アダプターのフィルターが詰まっているか、正常に取り付けられていない ➡**①循環アダプターのフィルターを確認する。(詰まっていないか、正常に取り付けられているか)** **②運転スイッチを「切」にし、再度「入」にして使用する。**
900 901 903	■燃焼に異常が生じた ➡**運転スイッチを「切」にし、再度「入」にする。** **(リセットできない、またはリセットしてもたびたび表示が出る場合は、修理を依頼してください)**

販売店または弊社窓口に連絡が必要です

■：原因　➡：処置

043	■暖房水が不足している ➡**販売店または弊社窓口に不凍液の補給を依頼してください。**
101 103	■給排気に異常が生じ、安全のために能力を低下させている ➡**機器は使用できますが、安全のため点検を受けてください。**
920	■中和器の寿命のため交換が必要 ➡**しばらくすると使用できなくなりますので、すぐに販売店または弊社窓口にご連絡ください。**
991 993	■燃焼に異常が生じた ➡**機器は使用できません。販売店または弊社窓口にご連絡ください。**
• 「お客さまで対処できるもの」以外の表示が出るとき • 「お客さまで対処できるもの」の処置をしても、表示がくりかえし出るとき • その他、わからないとき	➡販売店または弊社窓口にご連絡ください。

主な仕様

- 本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがあります。
- 出湯能力は湯水混合の計算値です。ただし、水圧、給湯配管の条件、お湯の設定温度によって多少異なります。
- 使用ガスはJISに規定する標準ガス、標準圧力での値です。
- 機種によっては、該当しないガス種もあります。

● 仕様表(24号)

自動	製品名	DH-CE2416SAWL
	型式名	DH-CE2416SAWL
設置方式		屋外設置形
水圧	使用水圧〈MPa〉	0.1～1.0(1.0～10.0kgf/cm²)＜推奨水圧 約0.15～0.5(約1.5～5.0kgf/cm²)＞
	最低作動水圧〈kPa〉	10(0.1kgf/cm²)
最低作動流量〈L/分〉		2.0
外形寸法〈mm〉		高さ600×幅469×奥行240
質量(本体)〈kg〉		32.5
接続	ふろ(往き・戻り)	CCHMジョイント
	暖房(往き・戻り)	CCHMジョイント
	給湯・給水	R3/4
	ガス	都市ガス･･･R3/4　LPガス･･･R1/2
	ドレン排出(オーバーフロー)	R1/2
電源		AC100V(50/60Hz)
消費電力(50/60Hz)〈W〉		170／170
	待機時消費電力	1.0
	凍結予防ヒーター	155

自動	製品名	DH-E2416SAWL	DH-E2416SAAL	DH-E2416SATL	DH-E2416SABL	DH-E2416SAUL
	型式名	DH-E2416SAWL	DH-E2416SAAL	DH-E2416SATL	DH-E2416SABL	DH-E2416SAUL
設置方式		屋外設置形				
水圧	使用水圧〈MPa〉	0.1～1.0(1.0～10.0kgf/cm²)＜推奨水圧 約0.15～0.5(約1.5～5.0kgf/cm²)＞				
	最低作動水圧〈kPa〉	10(0.1kgf/cm²)				
最低作動流量〈L/分〉		2.0				
外形寸法〈mm〉		高さ750×幅480×奥行240				
質量(本体)〈kg〉		35.5	36.5	35.5	37	36
接続	ふろ(往き・戻り)	CCHMジョイント				
	暖房(往き・戻り)	高温往き、戻り･･･CCHMジョイント　低温往き･･･CHMジョイント×3				
	給湯・給水	R3/4				
	ガス	都市ガス･･･R3/4 LPガス･･･R1/2	R3/4			
	ドレン排出(オーバーフロー)	R1/2				
電源		AC100V(50/60Hz)				
消費電力(50/60Hz)〈W〉		180／180	185／185	180／180	195／195	
	待機時消費電力	1.0				
	凍結予防ヒーター	153				

● 仕様表(20号)

自動	製品名	DH-CE2016SAWL
	型式名	DH-CE2016SAWL
設置方式		屋外設置形
水圧	使用水圧〈MPa〉	0.1～1.0(1.0～10.0kgf/cm²)＜推奨水圧 約0.15～0.5(約1.5～5.0kgf/cm²)＞
	最低作動水圧〈kPa〉	10(0.1kgf/cm²)
最低作動流量〈L/分〉		2.0
外形寸法〈mm〉		高さ600×幅469×奥行240
質量(本体)〈kg〉		32.5
接続	ふろ(往き・戻り)	CCHMジョイント
	暖房(往き・戻り)	CCHMジョイント
	給湯・給水	R1/2
	ガス	都市ガス･･･R3/4　LPガス･･･R1/2
	ドレン排出(オーバーフロー)	R1/2
電源		AC100V(50/60Hz)
消費電力(50/60Hz)〈W〉		160／160
	待機時消費電力	1.0
	凍結予防ヒーター	155

主な仕様（つづき）

● 能力表（24号）

型式名：DH-CE2416SAWL

使用ガス		ガス消費量（最大消費量）〈kW〉				出湯能力（最大時）〈L/分〉	
		給湯と暖房（またはふろ）同時使用	給湯	暖房	暖房とふろ同時使用	水温+25℃上昇	水温+40℃上昇
都市ガス	13A	57.8	44.1	高温 13.7 ／ 低温 7.9	13.7	24	15
	12A	54.0	41.2	高温 12.8 ／ 低温 7.9	12.8	22.5	14
LPガス		57.8	44.1	高温 13.7 ／ 低温 7.9	13.7	24	15

型式名：DH-E2416SAWL, DH-E2416SAAL, DH-E2416SATL, DH-E2416SABL, DH-E2416SAUL

使用ガス		ガス消費量（最大消費量）〈kW〉				出湯能力（最大時）〈L/分〉	
		給湯と暖房（またはふろ）同時使用	給湯	暖房	暖房とふろ同時使用	水温+25℃上昇	水温+40℃上昇
都市ガス	13A	60.6	44.1	高温 16.5 ／ 低温 15.8	16.5	24	15
	12A	56.5	41.2	高温 15.3 ／ 低温 14.7	15.3	22.5	14
LPガス		60.6	44.1	高温 16.5 ／ 低温 15.8	16.5	24	15

● 能力表（20号）

型式名：DH-CE2016SAWL

使用ガス		ガス消費量（最大消費量）〈kW〉				出湯能力（最大時）〈L/分〉	
		給湯と暖房（またはふろ）同時使用	給湯	暖房	暖房とふろ同時使用	水温+25℃上昇	水温+40℃上昇
都市ガス	13A	50.5	36.7	高温 13.7 ／ 低温 7.9	13.7	20	12.5
	12A	47.0	34.2	高温 12.8 ／ 低温 7.9	12.8	18.5	11.5
LPガス		50.5	36.7	高温 13.7 ／ 低温 7.9	13.7	20	12.5

リモコン音声一覧

●スイッチ操作をおこなったときの音声、スイッチ操作をしなくても出る音声について、一例を記載しています。

機器の動き	操作と条件		音声(抜粋)
運転「入」	運転スイッチ「入」	給湯温度が55℃以下のとき	(運転入音)
		給湯温度が60℃のとき	(運転入音)熱いお湯が出ます
時計あわせ	時計あわせスイッチを押す	押したとき	時刻が変更できます　給湯温度スイッチで変更してください
		時計あわせ完了	設定しました
お湯の温度変更	給湯温度スイッチで変更	給湯温度55℃以下に変更	給湯温度を○度に変更しました
		給湯温度60℃に変更	熱いお湯が出ます　給湯温度を60度に変更しました
		そのリモコンが優先でなかったら	(ピピピ)
優先	優先スイッチ「入」		給湯温度が変更できます
	優先スイッチ「切」		給湯温度が○度に変更されました
	優先切替後、給湯温度が60℃になったとき		熱いお湯が出ます　給湯温度が60度に変更されました
ふろ自動	ふろ自動スイッチ「入」		お湯はりをします　おふろの栓の閉め忘れに注意してください
	沸き上がりが近づくと		(ピピピ)もうすぐおふろが沸きます
	沸き上がり		(沸き上がりメロディ)おふろが沸きました
保温時間変更	保温時間スイッチを押す	押したとき	おふろの保温時間を変更できます
		1h～9hに変更すると	保温時間を○時間に変更しました
		oFに変更すると	保温なしに変更しました
ふろ温度変更	ふろ温度スイッチで変更		おふろの温度を○度に変更しました
ふろ湯量変更	ふろ湯量スイッチで変更	押したとき	おふろの湯量を変更できます
		変更すると	おふろの湯量を○に変更しました
追いだき	追いだきスイッチ「入」		追いだきをします
	台所リモコンで追いだきしたら	沸き上がりが近づくと	(ピピピ)もうすぐおふろが沸きます
		追いだき完了	(沸き上がりメロディ)おふろが沸きました
	追いだきスイッチを長押し(追いだき保温)		追いだき後、保温します
たし湯	たし湯スイッチ「入」		たし湯をします
たし湯量変更	たし湯中に、ふろ湯量スイッチで変更	湯量点滅が消えたあとに押したとき	たし湯の量が変更できます
		変更すると	たし湯の量が変更されました
たし水	たし水スイッチ「入」		たし水をします
たし水量変更	たし水中に、ふろ湯量スイッチで変更	湯量点滅が消えたあとに押したとき	たし水の量が変更できます
		変更すると	たし水の量が変更されました
ふろ予約	ふろ予約スイッチ「入」		ふろ自動の予約ができます 給湯温度スイッチで変更してください
		時計あわせをしていなかったら	(ピピピ)
	ふろ予約スイッチを押して予約完了		ふろ自動の予約を設定しました おふろの栓の閉め忘れに注意してください
	ふろ予約解除		ふろ自動の予約を解除しました
ふろ配管クリーン	開始時		おふろの配管クリーンを開始します
音量変更	音量スイッチを押すと		音量が変更できます
	音量スイッチまたは給湯温度スイッチで変更		音量を○に変更しました
呼び出し	呼出スイッチを押す		(呼び出し音) 浴室リモコンで呼出スイッチを押したときは、台所リモコンでは呼び出し音のあとに「おふろで呼んでいます」と鳴ります。
エネルック	エネルックスイッチ「入」		○○の今日の実績です
	エネルックスイッチ「切」		(ピピッ)
	今日/昨日スイッチを押して切り替え		○○の昨日の(今日の)実績(目標)です
	給湯温度スイッチを押して実績と目標を切り替え		○○の今日の(昨日の)実績(目標)です

設定範囲と初期設定

項目	初期設定	設定範囲
給湯温度〈℃〉※1	40	32、35、37～48(1℃きざみ)、50、55、60
ふろ温度〈℃〉※1	40	33～48
保温時間〈h(時間)〉	4	oF(保温なし)、1、2、3、4、5、6、7、8、9
ふろ湯量	6	1～11 ※2
たし湯量〈L〉	20	10、20、40、60、80、100
たし水量〈L〉	10	10、20、30、40、50、60
リモコンの音量	2	0(消音)、1(小)、2 (中)、3(大)
時計表示	(未設定時) ー：ーー	

※1：給湯温度・ふろ温度は目安です。季節や配管の長さなどの条件によって、実際の温度とは異なります。
※2：ふろ湯量の目安

ふろ湯量表示	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
湯量(目安)	130L	140L	150L	165L	180L	200L	220L	245L	270L	300L	330L

冬期の入浴について

- 冬期など浴室・脱衣室と居室の温度差が大きいときは、急激な温度変化による身体への悪影響(ヒートショック)によって、特に高齢者は入浴時の事故につながるおそれがあります。入浴時に暖房機器で浴室と脱衣室をあたためるなどしてください。浴室をあたためるには、シャワーでお湯を流したり、浴槽にふたをしないでお湯はりする方法もあります。

保管とアフターサービス

保管（長期間使用しないとき）

水を抜きます。（P40「長期間使用しないとき（水抜きのしかた）」参照）

アフターサービスについて

● 点検・修理を依頼されるとき

P46「故障・異常かな？と思ったら」、P50「リモコンに3桁の英数字が点滅しているとき＜故障表示＞」を見てもう一度確認し、それでも直らないときは、お買い上げの販売店かパロマサービスコールセンターまでご連絡ください。パロマサービスコールセンターは24時間受付いたしますので、ご利用ください。
なお、アフターサービスをお申しつけのときは右記の内容をお知らせください。

① 製品名（銘板表示のもの）
② 現象（できるだけ詳しく）
③ ご購入日･ガス種
④ ご住所･お名前･電話番号
⑤ ご訪問希望日

※作業に危険を伴う（ハシゴかけ、ヤグラ組立などを必要とする）場所に取り付けられた場合、アフターサービスをお断りする場合がありますのでご了承ください。

修理についてのお問い合わせは	パロマサービスコールセンター 0120-193-860	受付時間：24時間修理受付

商品について不明な点はパロマお客様相談室までご連絡ください。

商品についてのお問い合わせは	パロマお客様相談室 052-824-5145 〒467-8585　名古屋市瑞穂区桃園町6番23号	受付時間：平日　8：30～18：00 （土・日・祝日・弊社指定定休日を除く）

＊住所・電話番号などは変更することがありますのであらかじめご了承願います。

● 補修用性能部品の保有期間について

補修用性能部品は本製品製造打ち切り後10年間保有しております。

● BL認定部品について

優良住宅部品（BL認定部品）は、住宅に設置する場所（適用範囲）を設定して認定基準などが規定されています。そのため、BL認定部品を適用範囲外で使用される場合には、優良な部品としての性能が発揮できないことがあるとともに、優良住宅部品認定制度に基づく優良住宅部品（BL認定部品）の適用が受けられなくなります。

● ガスの種類が変わるとき

ご贈答、転居などによりガスの種類が変わるときは、ガス機器の調整が必要となりますので、お買い上げの販売店かパロマまでご連絡ください。この場合、費用は保証期間中でも有料となります。

保 証 書

パロマ　給湯暖房用熱源機

DH-E2416SAWL DH-E2416SAAL　DH-E2416SATL　DH-E2416SABL
DH-E2416SAUL DH-CE2416SAWL DH-CE2016SAWL

このたびは当社製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。この保証書はお客様の正常な設置･使用状態において万一機器本体が故障した場合には、本書の記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

≪無料修理規定≫

1. 取扱説明書、工事説明書、本体表示等の注意書きに従った正常な設置･使用状態で故障した場合には、お買い上げの販売店かパロマが無料修理致します。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、お買い上げの販売店かパロマにご依頼のうえ、本書をご提示ください。
   なお、離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には出張に要する実費を申し受けます。
3. ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
4. ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、パロマへご相談ください。
5. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
（イ）取扱説明書によらないでご使用になったり使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
（ロ）お買い上げ後の取付場所の移動、落下等による故障および損傷
（ハ）公害、火災、水害、地震、落雷、凍結等の天災地変、ねずみ、鳥、くも、昆虫類の侵入、異常電圧、供給事情（燃料・給水等）などによる故障および損傷
（ニ）一般家庭用以外（例えば、業務用使用、車輌、船舶への搭載等）に使用された場合の故障および損傷
（ホ）本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入捺印のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
（ヘ）消耗部品の取替えおよび保守等の費用
（ト）本書の提示がない場合
（チ）建築躯体の変形など機器本体以外の不具合に起因する当該機器の不具合、塗装の色あせ等の経年変化または使用に伴う摩擦等により生じる外観上の現象
（リ）海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境に起因する場合
（ヌ）給水・給湯配管の錆び等異物流入に起因する不具合
（ル）温泉水、井戸水、地下水などを給水したことに起因する不具合
6. 本書は日本国内においてのみ有効です。
   （This warranty is valid only in Japan.）
7. 本書は再発行致しませんので、紛失しないように大切に保管してください。

お客様	お名前	様
	ご住所　〒	
	お電話	
販売店	店名	
	住所	
	電話番号	

お買い上げ日	年　月　日

BL認定部品の保証期間	本体	お買い上げ日から2年間
	熱交換器	お買い上げ日から3年間

株式会社 パロマ
〒467-8585　名古屋市瑞穂区桃園町6番23号
TEL 052 (824) 5145

修 理 記 録

年　月　日	修 理 内 容	サービス員 ㊞

＊この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。なお、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店かパロマにお問い合わせください。
＊保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくはアフターサービス欄をご覧ください。